

森下各論文被引用表
(自己引用を除く)

第 3 稿
(喜寿記念)

(1989 年 2 月)
(但し 1989 年 1 月迄)

森下 正明

内 容

第 1 稿のまえがき (古稀記念)	--- i
第 2 稿のまえがき (叙勲記念)	--- iii
第 3 稿のまえがき (喜寿記念)	--- iv
図 1 ~ 図 3	--- vi
蛇 足	--- xi
森下各論文の被引用表	--- 1

附録…… 引用文献から見た日本の生態学

1989 年 10 月 28 日

第1稿のまえがき

私の研究生活は1933年京大の2回生にまでかまはじまりましたから、それがう勘定して今年には丁度50年目にたりします。研究が楽しいあつたにやみくもに歩いたもの、今日になって自分の打ちこみできたつもの生態学に対して、自分は一任どれたけの貢献ができたのかといふ、か氣にまりはじめたのは、残りの人生の短かさを自覚するようになった年のせいかもしれせん。そこで今までの答題論文が(それもいた、多少、には慚愧のいたりでありませぬ)研究者の方によつてどなたに利用して頂くことができたかと、各研究者の論文中に引用せられてゐる私の論文の引用頻度を目安にして調べようと思つた。で、それによつて引用の内容にまで觸れた資料をつくりたいところですが、年よりの遊びとしては、そんな面倒なことをするよりは引用頻度調査のような機械的方法の方が手軽でよからうし、かえつて客観性もあるだろうと容易に考えた次第でありました。手軽さという点では今まで多くの方から寄贈して頂いた別刷りがかなりありませぬので、これを調べ直せば文献さすしの手間は相当省けるだろうという希望的観測も入りました。これら別刷りと、その他いくらかの圖書雑誌あつたとかうつくり上げたものがこのリストであります。何せ遊びの作業であつたらう、つうつかりの股道で、手回を抜いての調査もれがすい合多しと思われまうから、リストとしては甚だ不完全な整理的なものですが、それでもこれは一応50年にわたつて多くの研究者によつて採点して頂いた私の成績表とでもいえるかもしれせん。たゞしこの成績、早して合採点に達してゐるのかどうか、比較の資料が皆無の現在では、残念ながら、あるいは早にして判定の任務もありませぬ。

ところでこのリストと採点方に見て頂くことにするかどうかについては少し分迷いました。何しろ畢竟個人の収集遊びの結果であつて、せいぜいの所自分の回顧趣味を満足させるかあるいは反省の材料として役立つぐらいで、何の社会的意義もありません。それに大体成績表なるものは、就職の時など別として、^{中味が}よゝ場合でも悪ゝ場合でもあまり他人様に見せまうがすものではないといふのが通念でありましよう。それにもかゝらず本日皆様方に御覧頂くことに踏み切つたのは、二つの理由があつます。一つは又々強弱を考へ方とでも申せましようが、自分の仕事に少しでも役に立つことができたと感じることによる喜びと、引用によつて立て下された方には、このリストを通じてお礼を申し上げたいからであつます。もう一つはこれとは打つち違つた厚がましいものであります。もともと遊びとして始めたリスト作りではありませぬが、そのうち段々欲が出てきただけましなものにしたと考へようになつたのは、コレクトマニアの習性でもありましようか。そこで皆様方にはお願いしたいのは、このリストに加へるべき資料であつたにもかゝらず、調査もれになつてゐるものに何かの機会にみ気付きの節は、何卒お教え頂きたいということでありませぬ。もしもこのリストもどなたかに完璧なつくり上げたところで、世の中に何等益するところはない

ことだけは確かですから、まことに協力甲斐のないことであらう。それを承知の上でお願いするわけですから、やはり厚がましいの一語にすべきであらう。たゞし私の方では、資料追加が多くすればそれだけ成績表の点数が増え、ひよっとすると合格点に達するかもという若干の期待感による、楽しむことが出来ますから、このほど見ても不公平を論じてはならない。まあ古縁に愛して御容赦下さい。

こういうリスト作りで困ることは、この先何年たつたら終りにするというめどが立たないことであらう。ことによると既述の論文の引用もまだ短期向は続くかもしれないし、それによれば少しづつ新しいものをつくらせてみるという気持ちだけはまだおそかに持ち続けていけるから、他人様に引用してもらうよう^方に努めたとしても、当面リスト作りは継続しなくてはならないことにせざるを得ない。しかし今の経験に照らすと、多分おそきを心配する必要性はなさそうであらう。

未定成りがある程度リストが出来た以上、何かしらともししいまとめをつけておく所ですが、できたばかりでまだゆっくり考え余裕もありませんので、とりあえず私の研究歴の時代区分と論文発表年との対応や、各時期の論文について年数経過にともなう引用数の変化などの一覧図を末尾につけておくことに致します。酒のワカテヒもそろそろには存じますが、簡易回覧録として考えられて頂ければ幸いです。

1983年1月27日

森下正明

オノノ稿のまえがき

このリストのオノノ稿を、私の古本記念用につくつてからもう三年近くたつた。もともと逆
びはじめた作業だから、不意なことに承知の上でしたが、それでもこれと見た方が、脱稿の御注
意をうけたら、オノノ私自身が送る気がつた場合がかなりあり、^{その上 前には} ~~オノノ~~ 急いで参照してついでに S.C.I.
と調べた結果、意外多量の追加をしなければならぬことが分りました。そうするとやはりこのま
ま、ほうりっぱなしにしておくのも気がいらぬし、オノノ所注意を改めたオノノの御注意にこたえるため
に改訂版をつくろうねといふ^{こと}という気がつきました。どうも改訂版をつくるのオノノオノノ稿に入つて
いる1983年、84年の2年分も加えてという次序でどうやらできたのがこのオノノオノノ稿です。
ところがこの2年分というのは、今度日本文献の調査がたへん不意分のオノノ、オノノで、これでは
近いうちに再改訂版が必要になるかもしれない。しかしとりあえず判つたオノノオノノでもまとめるこ
とにした。オノノオノノ稿についていた簡易回覧録の附図は、「自今又」ばかりの理屈とほいせ、
おしわけがらぬので簡易回覧録にオノノ紹介用表を添付してつけた。その所り各時期論文のオノノ後
の紹介用表の理屈を年単位でまとめたものをつけ加えたので、これで一応オノノオノノオノノ。

1985年 11月 30日

オノノ 下 三 稿

才 3 稿 (喜寿記念) の

ま え が き

この表の才 2 稿をつくったのは、ついこの前のように気がしているのに、もう 3 年半近くも経ちました。同じ 1 年で、その長さの感じは年令の逆数に比例するというのが、かねがね私の抱いている直観的仮説ですが、やはりそうだと感じる感じが致します。この説をあらためると「早くまゝまゝお正月」とうたっていた幼少の頃の 1 年にくらべて、最近の 1 年は 10 分の 1 以下の長さしかありません。「やつくりまゝまゝお正月」とうたいた今、心境は、なるほど当然がもしやせん。

余談はさておき、私の論文の引用のされ方もどうやら先が見えてきたようでありませう。それではこの 3 年半の間の新しい被引用が 200 あまり、それと才 2 稿をつくったあとで気付いた脱落分を合すると 250 ばかりの被引用回数が増加がありましたので喜寿記念としてこの稿をつくすることに致しました。もっとも最近 3 年は益々ものぐさになり、調べた必要のありそい雑誌や論文集、報告書などを探さず内を省いていくものが多いのでこの稿は才 2 稿以上に欠陥の多い表になっていると思ひます。この点見頂く皆様方のお許しを願ひするとともに、切角私の論文を引用して下さっているのに、私の調査努力不足でそれをこの表に加えることができなかった著者の方々に深くお詫言申上げます。

この稿では私の全論文合計の毎年の被引用状況を示す図のほか、私の研究歴を大学卒業、翌年から起算して 10 年ごうみに分割し、その各期についてその間の発表論文とそれらの合計被引用回数の推移を今年までたどってみました。研究者としての活力がどの年令で最もよく発揮されているかと、自分なりに振り返ってみたいという意図からつくったものですが、文献引用学では大したものと新しい試みかもしやせん。なおその主を抽出した各主要論文ごと（同じ年の発表論文二つ以上を一しよにして取扱つたものありませう）の発表後の被引用回数の推移も、1 年単位で図示してみました。これらの図に対してとかくの説明は余分のことと思ひますが、図成りだけは判り難いところの補綴もありませうから、一応末尾に「蛇足」をつけ加えました。おみやうぶしにぞし読んで頂ければ幸であります。

塵もつければ何とやらで、研究歴が 50 年にわたれば、その間の論文の被引用総回数も少しづつ、ふえて、どうやら 1,800 ほどにはなりました。今後これがどれくらいふえれば、まあまあな成績に達したといふまいから、物理学の方では最近 S. C. I. (Science Citation Index) の資料 E などに、研究者の一生を通じた平均的な総被引用回数の推定が行われていませうか? (有馬・金田、科学 59: 360-365, 1984)、生態学方面では

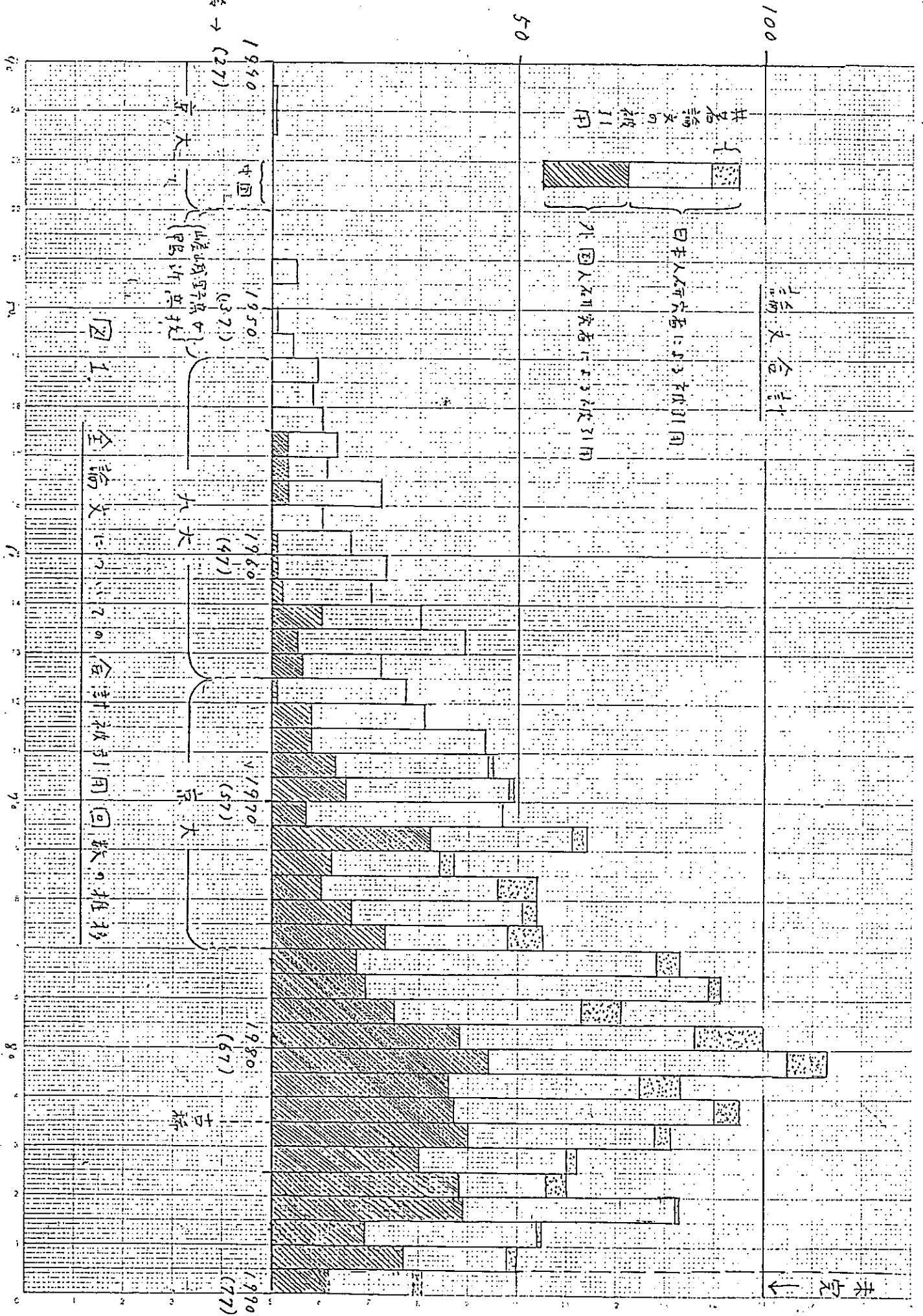
論文の「平均寿命」が物理学とはかぎり以上に、私の場合は S.C.I. に載っている日本の資料が大量に入っているから、表面的な数字の比較だけで結果を云々するわけにはいかない。まあ、これについては加えて S.C.I. には日本語の教科書、講座の、論文集などの引用文献が載っていないのは無理もありませんが、英文誌で外国人会員も少ない個体群生態学会の Res. Popul. Ecol. で出版をはじめから 17 年経つて 1979 年になってやっと S.C.I. に顔を出している状態です。日本生態学会誌にいたっては今日においてまで S.C.I. に採録されておられません。S.C.I. の便利さは否定できませんが、生態学に限る限り引用文献用の資料は S.C.I. だけに頼るのは少し弊害の多いところがあります。

さて私の成績の方では、総引用回数がせめてあと 200 くらい 2,000 の大台に乗らなければならぬと自覚しています。高い分母としたら、これは愚弄を及ぼしてまで世俗を超越できない僻巷不足のあらわれにちがいないと思います。これが普通のコレクションなら、自分の努力次第で取っかきからめものになることができておもしろいと思いますが、この表の場合は脱落分の追加は別として、よからの分は多くの研究者の方の御判断におまかせするわけでありませうから、欲ばったところでどうするものではないです。たゞ、引用回数でなくとも結果的に回数をふやせる方法が、新しい論文も一つ一つをこらから生産することです。何せ若い時から、「自然」が提示する問題の一つ一つは、何とが答えとみなければ、それでは満足し、その結果を論文にまとめる努力を怠る悪癖がたまるとついでに、現在ではもう氣力と頭の働きの大幅に鈍っていることですから、短い論文一つ書くと四壁八窓しげめはなります。カビの生えがけた上を素材を多少はありませうから、何とが努力はするつもりですが、果してうまくなりますかどうが。

この頃の悪い季節がもうすぐやって来ます。こういう表でリビエラ遊んでいるのは、研究室として季節は先立ってこの頃にもぐりこみ、そのぬくもりを楽しんでいるような感じがして、いさゝか気がとがめられておられます。しかし、むしろとすると、この頃の中に入つてはじめて気がつく新しい世の中の見方があるがとしかたせん、あつちあつちにはまらぬ期待だけはありませうが、せめてこれと、と自己辯護の種にすることを許して下さい。

1989年10月28日
森下正明

各年被引用回数



未完 ↓

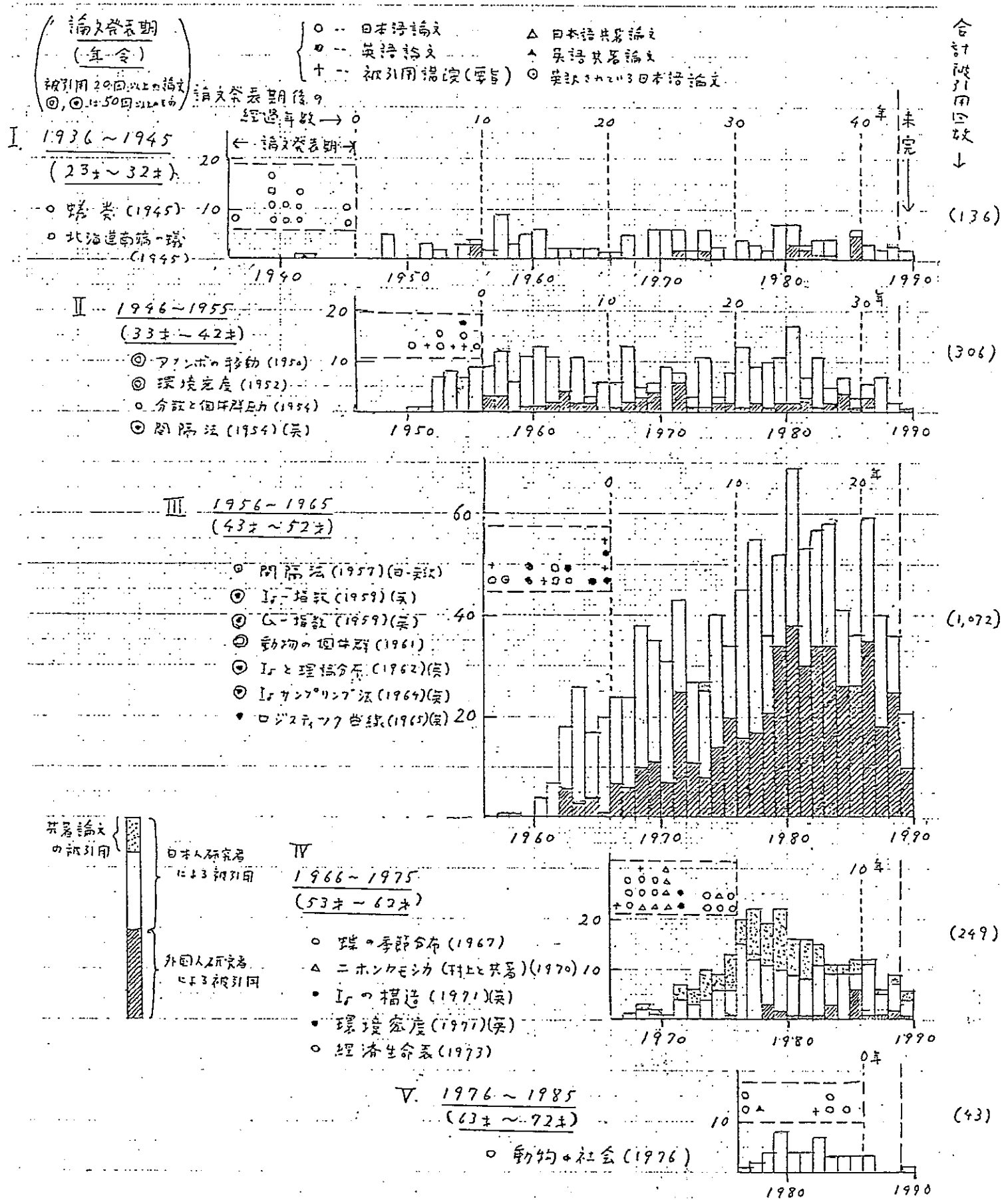
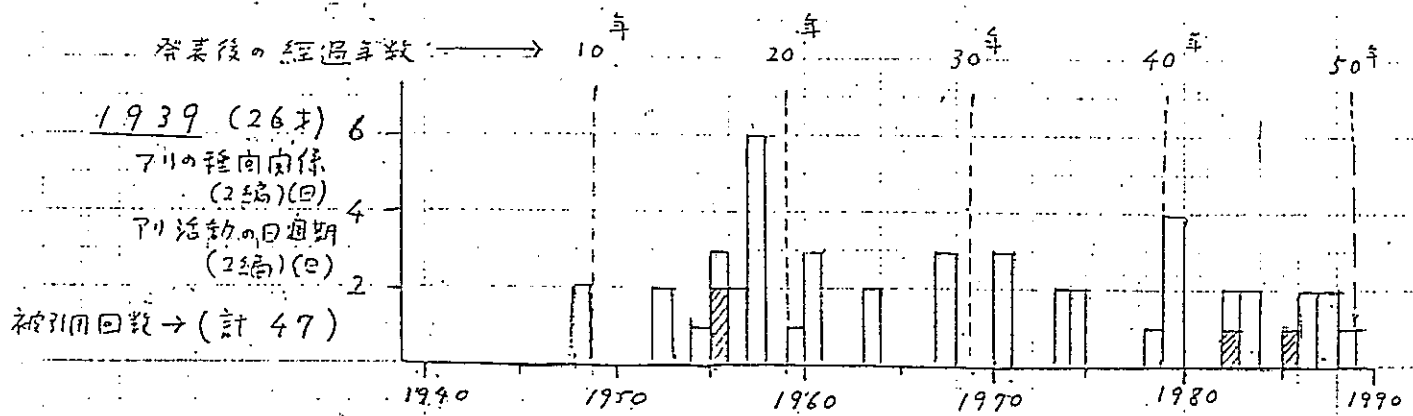


図2. 各時期(10年単位)毎に見た発表論文と被引用の状況

(日) --- 日本語論文 (英) --- 英語論文

□ 日本人の引用数

▨ 外国人の引用数



1940 (27年)

アリの食餌成分と
 水や酸素(日) 4
 食料と赤血球 (日) 2
 (計 9)

1940 1950 1960 1970 1980 1990

1941 (28年)

アリの種間関係 4
 (日) 4
 アリとアリとの
 相互作用(日) 2
 権法(日) 2
 (計 24)

1950 1960 1970 1980 1990

1945 (32年)

「蟻集」(日) 6
 北海道のアリ(日) 4
 (計 56)

1950 1960 1970 1980 1990

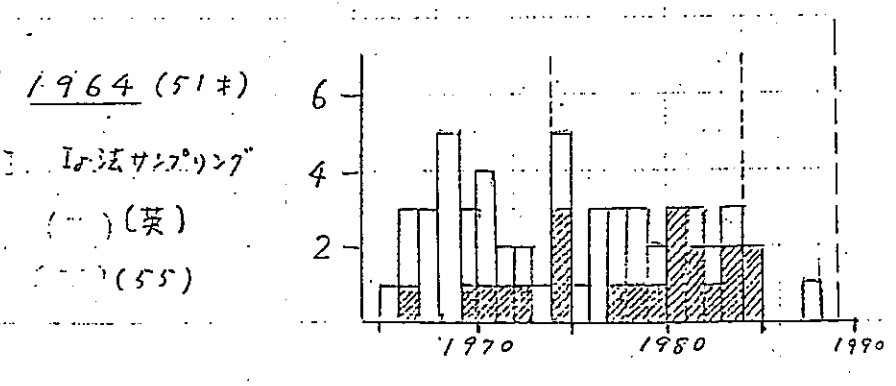
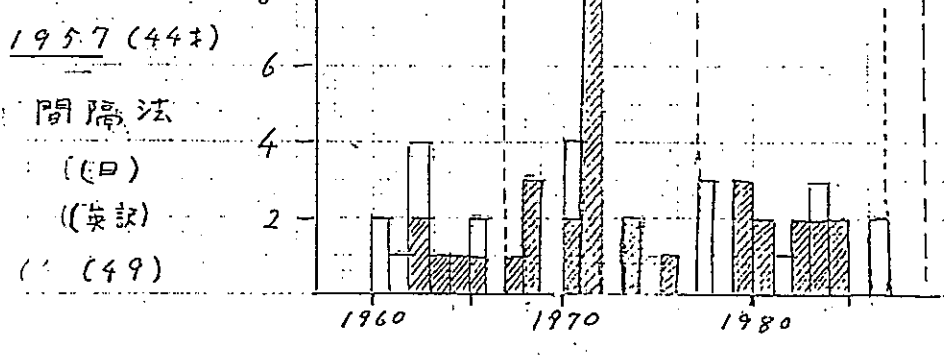
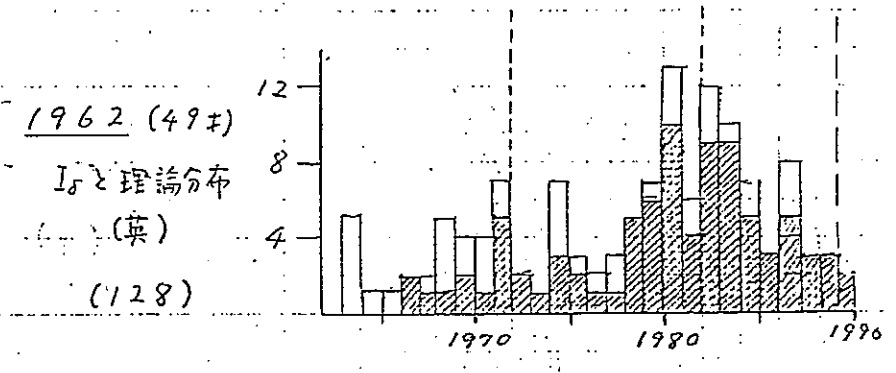
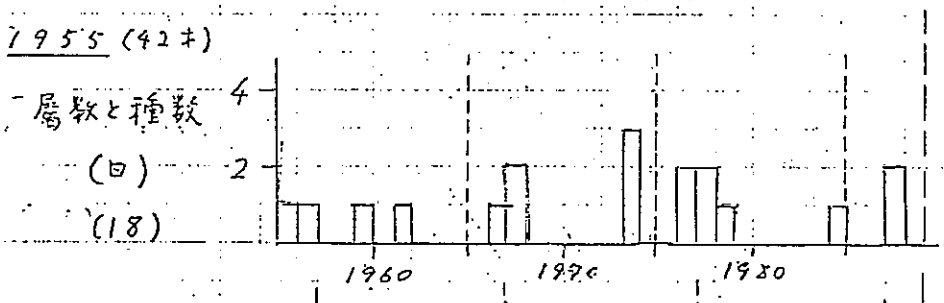
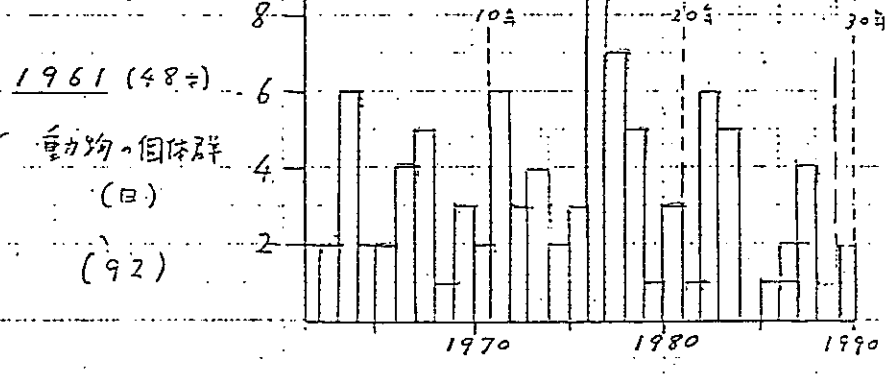
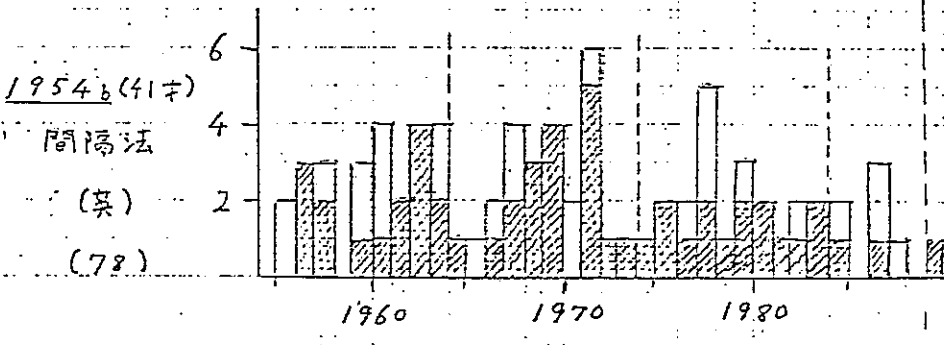
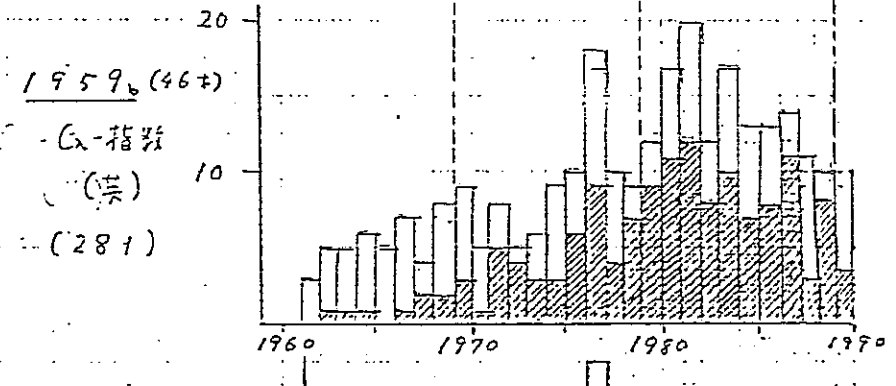
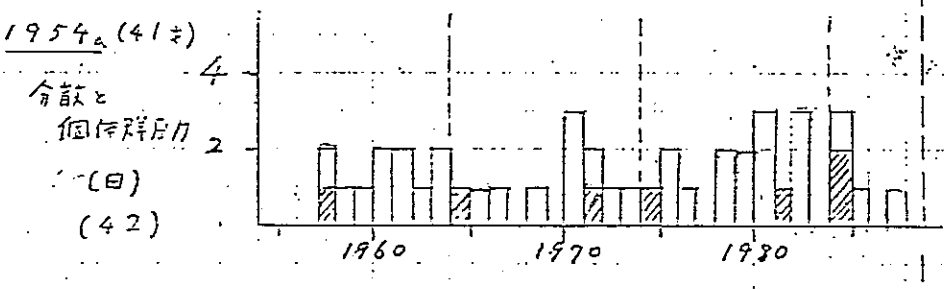
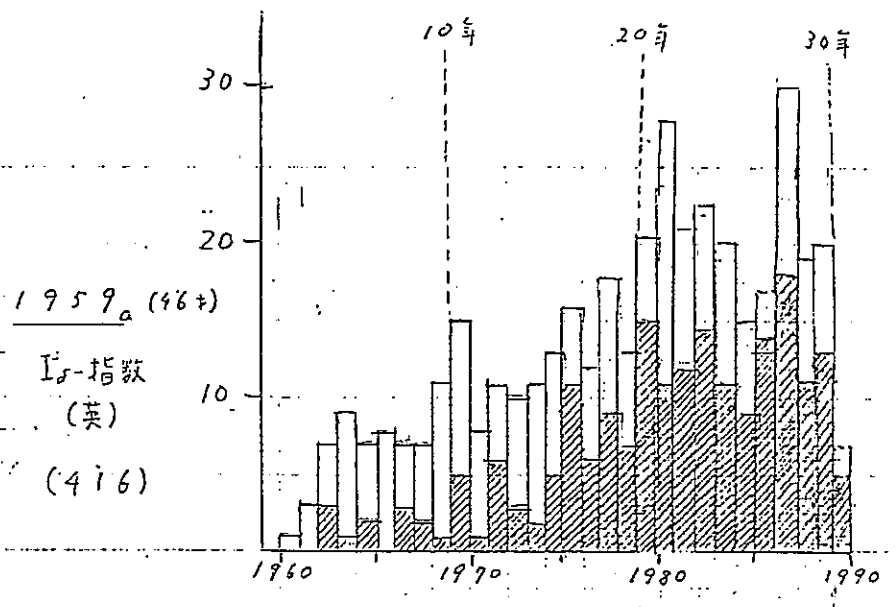
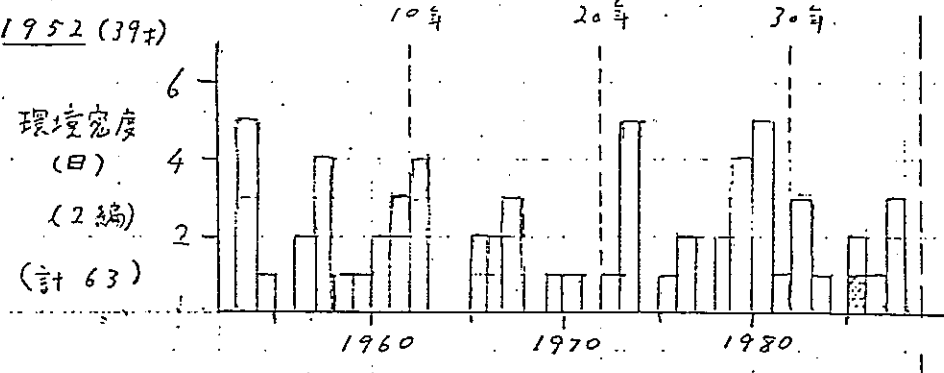
1950 (37年)

ヒアリシボの移動
 (日) 4
 (102)

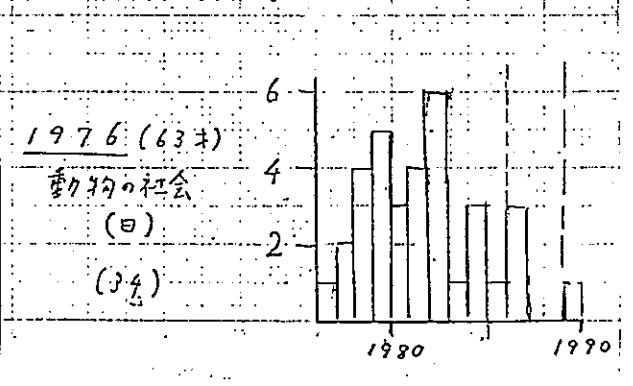
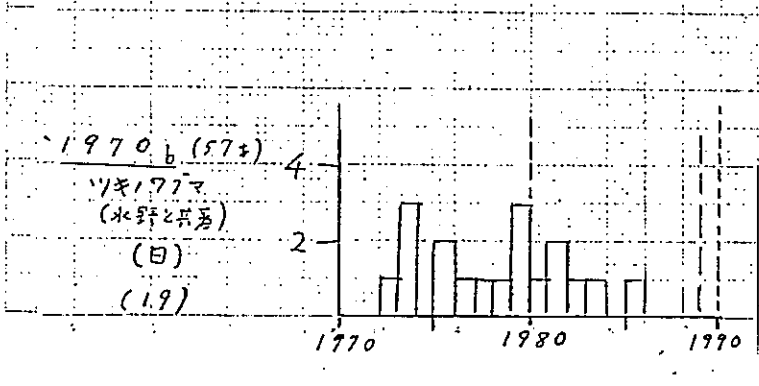
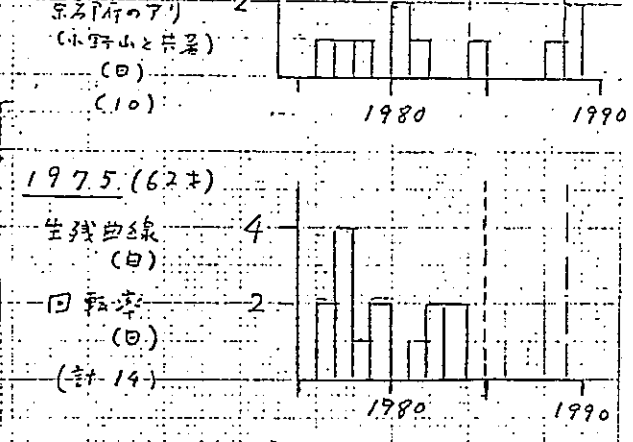
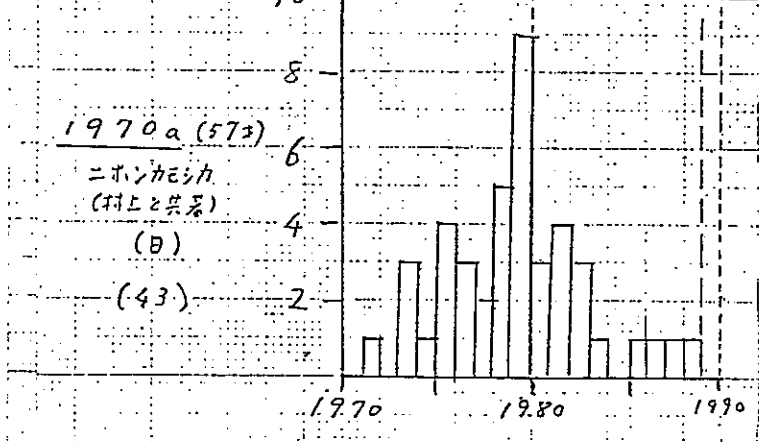
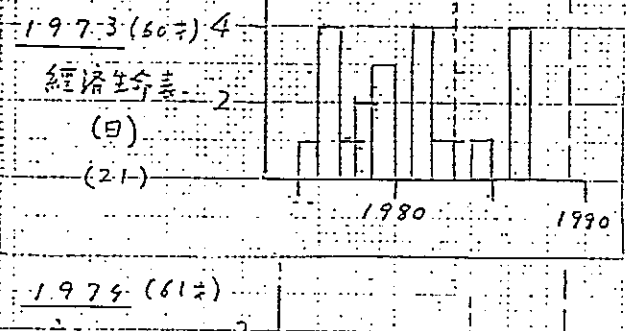
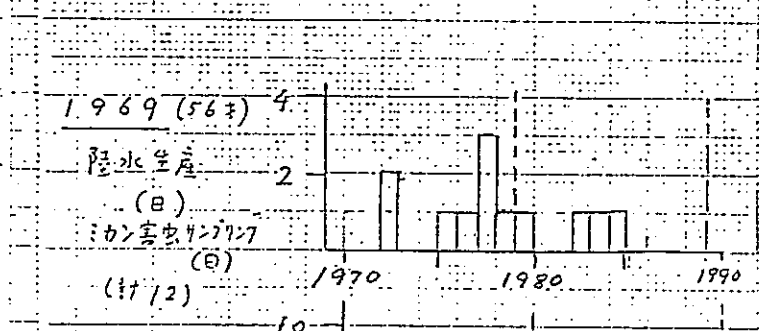
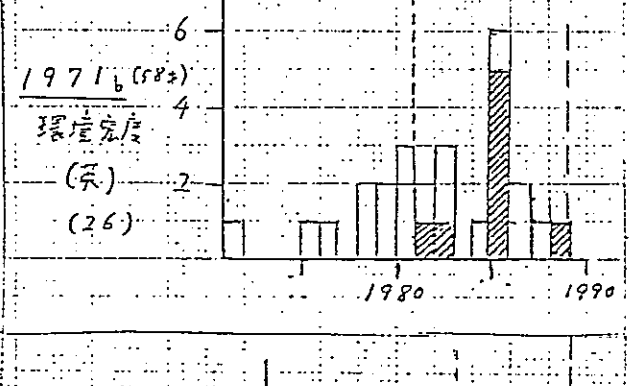
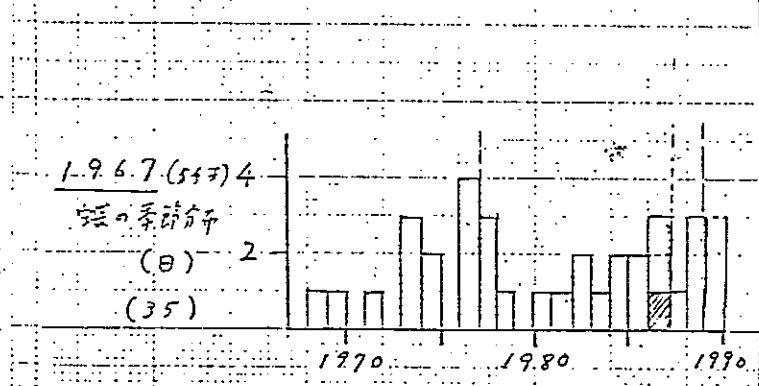
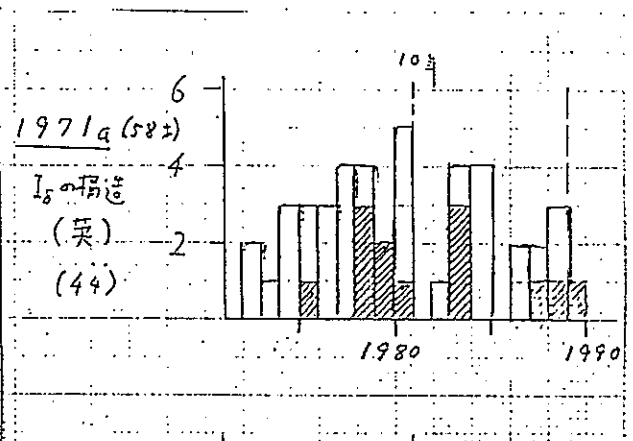
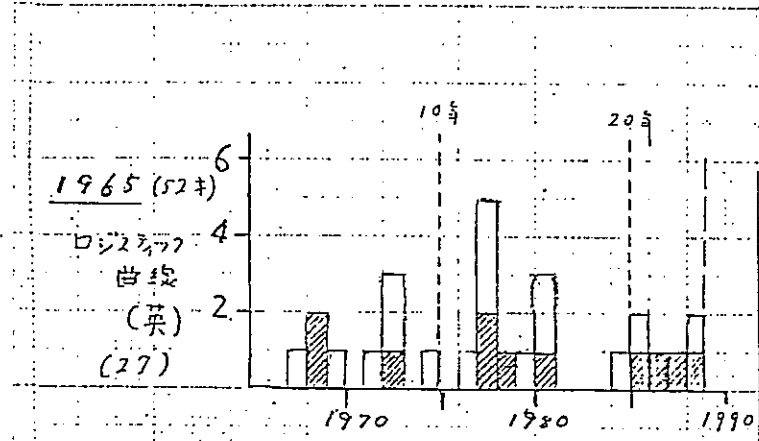
1950 1960 1970 1980 1990

図3 各主要論文発表後の引用のさめ方 (1989は未定)

a. 1939~1950



36 1952~1964



3c 1965-1976

其它 足

② 1 として気が付いたのは、私の論文の全被引用回数の60%以上が、私が大序を定年退職してからのものであることである。これは何も定年後の仕事が評価されたのではなく、図2からわかるように主として40才台に書いた論文の「後遺症」といふべきものであろう。これが一般化できるかどうかは判らざりしとしても、研究者の業績を単に活動期が終わったからといって、それをその被引用回数の多寡で早急に評価するのはかなり問題がありそうである。

図2に示した5つの時期のうち、^{仕事は}才I期の戦前から戦争中にかけてのAリに属するのは、その頃より本邦ではAリが研究者は17人の僅かしかいなかったため、全体として論文も少く、そのために私の仕事のように5才台以上をその中で支配的と考へておいたためである。たゞ私が習得したたしかめた植物分系学とAリの垂直分群の階層高度のその間の関係などは、他の動物ではまだあまり注目されておらずに思ひます。実際にはどうでしょうか。

才II期は終戦直後から私が九州大学に赴任当初までの時期で大体30才台でありながらこの時期に著されたヒトリスの論文は、私が才I期のはじめ、1937年、当時24才の時に行った研究で、その論文原稿も本文は1942年に書き上げてその年、校閲してもらったものから、実質的には才I期に入れるべきものでしょう。自信がぬい終結であるが、この論文は動物個体群の密度依存の分散と実証した世界でも最初の仕事です。またこの仕事のために行った個体群の個体識別や間隔法の理論化も、生態学でははじめの試みでありましたから、やはり20才台は先入観に反して「自然をあるがままに見ようとする柔軟さを持った時期だった」といえるがもしあれば。

才II期が私にとって特に忘れられない時期であるのは、戦前の調査ルートと^{仕事}終戦とを失い、おまけに病気にたおれて今後研究者としてどう生きていくべきかを考えざるを得ない状態におちついたことでした。この危機を1万と乗り越えることができたのは、野外の仕事はもう駄目でも室内ではできることがあったという研究への執念ともいふべきもののお陰かもしれません。こうして病上りはAリにゴクとフカフカ行った実験の結果が、環境密度や個体群圧力の論文になりました。

約25才では研究者の活動の最盛期は30才台であるとされているが(有馬・金田, 1989)、私の場合は被引用回数から見てやはり40才台である才III期が最も活カ旺盛であったように思われます。それともこの期ははじめは病気のためしばらく休んでしまったので「膝下はこころでまたこころは起すよ」などと人に語りかかっている始末でありませう。この期の論文の中で特に被引用回数が多いI&R指数は、才II期時代に間隔法の一般化として区別法との併用を考えたことからヒントを得てつくることができたものであろう。30才台から出た「仕事」といふことはありませぬ。

才IV期は京都大学へまわってきたことであるが、T君IBPがはじまりまた白山の調査をはじめた時期で

ありす。大学紛争や両度度の病気で入院を余儀なくされたが、教壇の方への御礼力のなかで二種の報告書類の作成もどうやら一応おまじることになりました。^{ある}この期に書かれた論文の中で、蜂の香印分布を取上げたものは、1952年までの調査の結果ですから、資料という点だけからいえば、16頁を眠らせておくに任せておいた訳ではありません。論文書きを急ぐ私の悪癖を多くの方がお叱りにするのには当然でありす。

定年近きつごう日本の生態学研究者の一人として我が国の生態学が生態学界全体にどの程度の貢献としてきたかを調べざるを得ないという氣を起しました。そのためには我が国のすぐれた研究業績の個々を取り上げるのが最も本格的と思ふゆゑその取り上げ方にはかなり主観も入ることでしょうから、いふそのこと、諸外国の論文の中には日本の研究者の業績がどの程度引用されたかを調べるといふ方法の方が、かなり確信はあつて客観的である一つの評価法にたつたのではなからうかと思つておりました。そこで、欧米の生態学専門の雑誌のついでについて、引用された日本の文献がと出まるといふ過去までさがりついで調べることをはじめました。またS.C.I.の存在を知りし當時に於ては引用文献が学として日本でははしりの仕事であつたかもしれません。この作業は定年後も続けましたので、生態学専門誌でついでに関係誌はついでとあつた。これを踏まへて調べ上りついで一人では到底手には負えせん。そこで1981年になつてとつとあつた。その代りに自分個人用のこの被引用表づくりに切りかえた次第であつた。たゞアメリカのEcology およびEcological Monograph だけは1950年から1980年までの引用日本文献を全部調べ上げることにいたしましたので、その結果を整理したものをこの稿の付録としてお目にかけることに致しました。この資料は1981年6月片岡仁志宗博士が後援をなさるに際して、その後の新しい資料の追加を急いで取り扱つておられたので、古い資料の誤りもあつたが生態学関係の方には多少でも御参考にならば幸であります。

オV期は定年以後にありす。この時期の「動物・社会」は大部分素天不機中書に書いたものであつた。實質的にはオIV期の作品といふべきであらう。オV期に入つてから短篇もかほりつが書きたが、氣力のおとろは如何ともあることにはあつた。いふに送るほどのもつはありませぬ。

「蛭足」が15冊の内には「自分史」の形になつてしまつた。もっとも本書「自分史」を分書かわけするにことは多く残つてありすが、「蛭足」といふこの程度で一応お許しを頂きたいと思つた。

林下各論文の被引用表
(1985年まで)

森下自身の引用は除く。

* 外国人論文(共著の場合に著者名が外国人)の論文は、その引用文献表には入っていない。本文で引用しているもの。

トビイロシマアリと他種の蟻との戦闘に就いて 関西昆虫学会報 8:127-138 (1939)

1948 宇松京三. 郷土自然科学の研究(共立出版) 1集:185-213
 1954 坂上昭一. 日生態会誌 4:93-97
 1955 * Brian, M.B. J. Anim. Ecol. 24:336-351
 1957 常木勝次・宇道之房. 日生態会誌 7:166-171
 1960 Hayashida, K. Ins. Soc. 7:125-162.
 1967 常木勝次・奥野宏. 生物研究(福井) 11:27-36
 1970 守部琢哉. 日生態会誌 20:219-230
 1973 吉川公雄. 生態学講座(共立) 21:1-130
 1974 菊池泰二. " 13:1-120
 1977 Higashi, S. Kontyu 47:381-389
 Higashi, S. & K. Yamauchi Jap. J. Ecol. 29:257-264
 1982 * Hlldöbler B. Oecologia 52:208-213
 1983 松本忠夫. 社会性昆虫の生態 培風館
 1986 Tsuji, K. & Y. Ito. Appl. Ent. Zool. 21:377-381.
 1987 山内克典・鈴木孝代司. 岐阜大学教育学部研究報告(自然科学) 11:12-17.
 1988 Tsuji, K. Ins. Soc. 35:321-340

樹上に於ける数種蟻の相互関係に就いて 関西昆虫学会報 9:22-42 (1939)

1948 宇松京三. 郷土自然科学の研究(共立出版) I:185-213
 1955 * Brian, M.B. J. Anim. Ecol. 24:336-351
 1957 常木勝次・宇道之房. 日生態会誌 7:166-171
 岡本啓. ITL 5:39-43
 1959 伊藤嘉昭. 比較生態学. 岩波
 1960 Hayashida, K. Ins. Soc. 7:125-162
 河端政一. 西山伊和稿. 生理生態 9:105-106
 1967 常木勝次・奥野宏. 生物研究(福井) 11:27-36
 吉田政治. 生存競争. 古今書院
 1970 守部琢哉. 日生態会誌 20:219-230
 1973 吉川公雄. 生態学講座(共立) 21:1-130
 1974 菊池泰二. " 13:1-120
 1978 伊藤嘉昭. 比較生態学 改訂版 岩波
 1979 Higashi, S. Kontyu 47:381-389
 Higashi, S. & K. Yamauchi Jap. J. Ecol. 29:257-264
 1983 松本忠夫. 社会性昆虫の生態 培風館
 1985 * Choi, B.M. et al. Cheong-Ju Nation. Teachers Coll. 22:439-462.
 1986 Tsuji, K. & Y. Ito. Appl. Ent. Zool. 21:377-381.
 1987 山内克典・鈴木孝代司. 岐阜大学教育学部研究報告(自然科学) 11:12-17

蟻の活動の日週期 (I) シマアリの活動 生態学研究 5:105-116 (1939)

1952 中尾舜一. 生理生態 5:17-25
 1955 恩藤牙典・菊池泰二. 日生態会誌 5:62-66
 1956 恩藤牙典・森主一. 日生態会誌 5:161-167
 1957 常木勝次・宇道之房. 日生態会誌 7:166-171
 岡本啓. ITL 5:39-43
 1963 近藤正樹. 科学の実際 14:653-656
 1970 守部琢哉. 日生態会誌 20:219-230
 1982 伊藤隆正. 蟻 10:6-7

蟻の活動の日週期 (II) トビイロアリノ活動 生態学研究 5: 179-184 (1939)

- 1952 中尾翁一 生理生態 5: 17-25
- 1956 恩藤孝典・森圭一 日生態全集 5: 161-167
- 1957 学木勝次・宇道之房 " 7: 166-171
- 1963 近藤正樹 科学の文庫 14: 653-656

蟻の垂直分布と水平分布、特に分布境界線の問題 石見 2: 153-157 (1940)

- 1948 (宇佐京三 岡山自然科学の研究 I. 山と高原: 183-213)
- 1962 上村 清化 京都府大学術誌 理学及农医学 3A: 197-260
- 1965 木田重義 日生態全集 19: 27-35
- 徳田 徳福 生物地理学 筑北学院
- 1985 * Choi, B. M. et al. Cheong-Ju Nation. Teachers Coll. 22: 439-462

京野原の赤蟻とトビイロアリ 山小屋 106: 53-59 (1940)

- 1976 近藤正樹 京野原の自然と文化 (吾野原): 159-165
- 1980 * Kim, Ch. H. & Y. Murakami J. Fac. Agr. Kyushu Univ. 29: 239-295
Onoyama, K. Kontyu 48: 193-212
- 1983 * Kim, Ch. H. & Y. Murakami J. Fac. Agr. Kyushu Univ. 28: 71-
- 1985 * Choi, B. M. et al. Cheong-Ju Nation. Teachers Coll. 22: 439-462

樹上に於けるトビイロアリと他種ノ蟻との関係 昆虫 15: 1-9 (1941)

- 1955 * Brian, M. B. J. Anim. Ecol. 25: 336-351
- 1957 学木勝次・宇道之房 日生態全集 7: 166-171
- 辻 兵・明 Insect Ecology 6: 160-162
- 1959 伊藤嘉昭 比較生態学 岩波
- 1960 河端琢一・西山伊和稿 生理生態 9: 105-106
- 1970 宇部琢哉 日生態全集 20: 215-230
- 1971 * Wilson, E. O. The insect societies. Cambridge
- 1973 宇部琢哉 環球下理工学部紀要(理学篇) 16: 232-245
吉川 公雄 生態学講座(共誌) 21: 1-130
- * Carroll, C. R. & D. H. Janzen Annual Rev. Ecol. Syst 4: 231-257
- 1976 Suzuki, Y. Kontyu 44: 193-204
- 1979 Higashi, S & K Yamauchi. Jap J. Ecol. 29: 257-264
- 1981 * Hermann, H. K. & M. S. Blum Social insect II (ed. H. R. Hermann): 79-197
- 1983 松本 忠夫 社会性昆虫の生態. 培風館
- 1986 Tsuji, K. & Y Ito Appl. Ent. Zool. 21: 377-381.

運動性の大きい動物の密度調査に対する標法の適用 (I) 生態学研究 7: 63-73 (1941)

1952 内田俊郎 Mushi 3: 81-89
 1959 伊藤正春 日生態会誌 9: 207-214
 1967 小野常一 生態学実習誌: 87-107
 1982 Mishimura, M. Res. Pop. Ecol. 24: 52-69
 1989 西村昌彦 個体群生態学会報 45: 49-56

アリコロシの標法に就いて Mushi 13: 93-96 (1941)

1941 安松宗三 Mushi 13: 96
 1948 安松宗三 郷土自然科学の研究 I. 山と高原 (共立出版): 185-213
 1951 Yasumatsu, K. & W. L. Brown Jr. J. Fac. Agr. Kyushu Univ. 10: 29-49
 1988 日本蟻類研究会編. 日本アリ類誌 1巻.

北海道南端の蟻 Mushi 16: 21-28 (1945)

1948 安松宗三 郷土自然科学の研究 I. 山と高原 (共立出版): 185-213
 1951 Yasumatsu, K. & W. L. Brown Jr. J. Fac. Agr. Kyushu Univ. 10: 29-49
 1957 Hayashida, K. J. Fac. Sci. Hokkaido Univ. Ser. 6 Zool. 13: 173-177
 1958 白水陸 日本産蟻類分布表 北陸館
 1959 Hayashida, K. J. Fac. Sci. Hokkaido Univ. Ser. 6 Zool. 14: 252-260
 1960 Hayashida, K. Ins. Soc. 7: 125-162
 1961 近藤正樹 箱根博物 1: 16-27
 1964 Hayashida, K. J. Sapporo Otani Jun. Coll. 2: 107-129
 1965 (馬場三之. アリの生態 明玄書房)
 1969 石田重英 日生態会誌 15: 27-35
 Imai, H. T. Sci. Rep. Tokyo Kyoiku Daigaku. Ser. B 14: 27-46
 1970 Yamauchi, K. & K. Hayashida J. Fac. Hokkaido Univ. Ser. 6 Zool. 17: 501-519
 大沢守一 インセクト 21: 1-11
 1971 木元新作 昆虫 39: 310-319
 林田和男 国立科学博物館年報 4: 29-38
 1973 園部力雄 JIBP-CT 0347年度報告: 178-183
 1977 Sonobe, R. Jap. J. Ecol. 27: 111-116
 1978 Yamauchi, K. Sci. Rep. Fac. Educ., Gifu Univ. 6: 147-181
 1979 園部力雄 インセクト 30: 69-73
 1980 * Kim, C. H. & Y. Murakami J. Fac. Agr. Kyushu Univ. 24: 239-253
 村上陽三・金高法 蟻 9: 7-8
 Onoyama, K. Kontyu Tokyo. 48: 153-212
 1985 * Choi, B. M. et al. Chong-Ju Nation. Teachers Coll. 22: 439-462
 Higashi, S. et al. Jap. J. Ecol. 35: 469-479
 1989 Onoyama, K. Jpn. J. Ent. 57: 604

蟻類 古川晴男編 日本生物誌 5 昆虫下 (研究社): 1-56 (1945)

- 1948 宇松宗三 蛭土自然科学の研究 I 山と高原: 185-213
- 1951 Yasumatsu & W.L. Brown Jr. J. Fac. Agr. Kyushu Univ. 10: 29-44
- 1954 坂上昭一 日生態会誌 4: 93-97
岡本 隆 ITLセ 3: 43-49
- 1958 吉良宣夫・依田泰二 生物と環境: 231-269
(鶴田延一郎 昆虫学 生物学実験法講座 5 岩崎書店)
- 1959 Hayashida, K. J. Fac. Sci. Hokkaido Univ. Ser. 6 Zool. 14: 252-260
- 1960 Hayashida, K. Ins. Soc. 7: 125-162
- 1961 近藤正樹 箱根生物 1: 16-27
- 1962 上村清・甲根猛房・小山長雄 京都市大学術報告 理学及家政学 3A: 197-210
- 1964 Hayashida, K. J. Sapporo Ofani Jun. Coll. 2: 107-129
- 1966 岡本 隆 ITLセ 16: 5-8
- 1967 吉田敏治 生態学実習考: 153-166
- 1969 岡本 隆 ITLセ 19: 5-10
Imai, H. T. Sci. Rep. Tokyo Kyoiku Daigaku Ser. B 14: 27-46
- 1971 林田和男 国立科学博物館会報 4: 29-38
久保不諒 生物種図 *
小暮 保 日本の蟻. pp 62
- 1972 近藤正樹 バイオテラ 3: 5-12
- 1976 吉田公人 林試研報 279: 1-85
近藤正樹 京師の自然と文化 長野県: 159-165
- 1977 Sonobe, R. Jap. J. Ecol. 27: 111-116
近藤正樹・松本忠夫 生態学研究法講座 (平立) 26: 62-94
- 1979 岡部力雄 インセクト 30: 69-73
- 1980 * Kim Cu. H. & Y. Murakami J. Fac. Agr., Kyushu Univ. 24: 239-243
村上陽三・金呂法 蟻 9: 7-8
- 1981 * Kim Cu. H. & Y. Murakami J. Fac. Agr., Kyushu Univ. 26: 9-19
結方一夫 五島への生物: 347-351
- 1982 木野村恭一 他 岐阜県の昆虫: 121-136
- 1985 * Choi, B. H. et al. Cheong Nation. Teachers Coll. 22: 437-462
- 1988 日本蟻類研究会編 日本産アリ類和名一覽

ヒノアシンの棲息密度と移動 - 動物集団についての観察と考察 - 京大生理生態研究年報 65: 1-149 (1950)

(1942) 内田俊郎 巧ミマ 3: 81-89 (発表原稿に基き31用)

1950 今西錦司 生理生態 4: 28-41

1951 徳田御穂 進化論 岩波全書

1952 伊藤嘉昭 個体群生態学への研究 1: 36-58
 渡辺昭-内田俊郎-吉田敏治 全上 1: 94-102
 河野達郎 全上 1: 109-112
 内田俊郎 全上 1: 119-121
 伊藤嘉昭 応用昆虫 7: 169-176
 鳥居白蔵 生態学概論 (八木誠政編)

1953 宮地伝三郎 系生 - 動物の生態 岩波全書
 沼田真 生態学方法論 古今学院
 河野達郎 個体群生態学への研究 II: 95-105

1954 伊藤嘉昭 農政研報 4: 187-199
 伊藤正春 生理生態 6: 55-62
 宮下武三 全上 4: 16-20
 河端政一 全上 4: 30-5
 北沢左三郎 農政研報 総合学術研習団研究報告: 625-680
 大井亮一 医学と生物学 31: 164-166

1955 沼田真 千葉大文学部紀要 (自然科学) 1: 277-293
 伊藤嘉昭 応用昆虫 20: 203-212
 高橋文樹 日生態会誌 5: 82-87
 羽田健三 信大教育学部研究論叢 5: 1-32
 伊藤正春 応用昆虫 11: 25-31
 河端政一 生理生態 6: 107-117

1956 伊藤嘉昭 生活と環境との相互関係 (生物科学特集): 42-46
 巖俊一 日生態会誌 5: 130-135
 水野秀彦・舟川正司 全上 6: 93-96

1957 小野秀一 日生態会誌 7: 45-51
 久保浩洋 全上 7: 80-84

1958 吉田敏治・高橋三三 宮崎大学医学部紀要 4: 1-13
 伊藤嘉昭 生態昆虫 7: 21-27
 白池泰二 日生態会誌 8: 20-26
 野村健一 昆虫学入門. 北隆館

1959 沼田真・徳田御穂 植物生態学 (沼田編) 古今学院: 40-220
 伊藤正春 日生態会誌 9: 207-214
 松田達郎 全上 9: 220-224
 朝日穂 生物学 11: 24-31
 伊藤嘉昭 比較生態学. 岩波

1960 吉田敏治 宮崎大学医学部紀要 自然科学 8: 21-32
 小野秀一 日生態会誌 10: 161-168
 Ito, Y. Bull. Nation. Inst. Agr. Sci. (Japan) Ser. C 11: 95-130
 加藤経典・細川隆英 生態学演説: 82-216
 Maeda, H. J. Shimonosaki Coll. Fish. 7: 89-108

1961 伊藤正春 日生態会誌 11: 202-208, 232-238
 Ondo, Y. Pub. Biol. Inst. Fac. Lib. Art, Tottori Univ. 1961: 1-31
 羽田健三 信大教育学部紀要 11: :

1962 小野秀一 生活と環境と自然科学特集 10: 23-29

1963 Iwao, S. & A. Machida Res. Popul. Ecol. 5: 107-116
 Iwao, S. et al. Jap. J. Ecol. 13: 109-117
 小田力 日生態会誌 13: 41-46
 伊藤嘉昭 動物生態学入門 古今学院
 伊藤正春 日生態会誌 13: 35-40

(ヒヤクマンボ [50] まで)

- 1964 大竹昭郎 生物科学 16: 90-91
- 1965 小林四郎 日生態会誌 15: 35-38
夏 朝夫 哺乳類科学 10: 17-20
- 1966 全上 11: 25-28
- 1967 Shiga, M. Mushi 41: 75-89
大竹昭郎 動物生態学 共立全書
沼田卓 千葉大臨海研報告 9: 73-93
羽田健三・市川武彦 日生態会誌 17: 182-189
- 1968 小林四郎 全上 18: 120-124
- 1969 Higashi, K. Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ. Ser. E (Biol.) 5: 95-113
- 1970 伊藤嘉昭 動物生態学入門 改訂版 古今堂刊
Iwao, S. Rev. Plant Protec. Res. 3: 41-53
Iwao, S. Random counts in models and structures: 117-149
- 1973 吉川公房 生態学講座(英) 21: 1-130
- 1974 久野英二 応用統計 4: 39-53
- 1975 大久保明 生態学と環境 筑波学院
内田修訂 生態学講座(英) 17
Sirota, Y. Kontyû 43: 233-241
- 1976 久野英二・江橋信久 生理生態学 17
牧 若男 全上 17: 247-260
上田啓行 全上 17: 303-312
伊藤嘉昭 動物生態学 古今堂刊
伊藤嘉昭 下位社会生態学研究会報告 12: 49-57
(17) 沼田卓 生態学講座(英) 1)
- 1977 Murai, M. Res. Popul. Ecol. 18: 147-159
Shiga, M. Res. Popul. Ecol. 18: 284-301
- 1978 Shiyomi, M. & S. Kubo Res. Popul. Ecol. 20: 23-32
重定尚子・幸本英 日生態会誌 28: 1-8
伊藤嘉昭 比較生態学 分2版
重定尚子 数理科学 183: 40-46
- 1979 沼田卓 生態学方法論 自誌
志賀正和 生物試教 A6: 59-168
- 1980 Tsubaki, Y. & N. Yamamura Res. Popul. Ecol. 21: 322-344
Sugimoto, T. Res. Pop. Ecol. 22: 17-32
岡田有宗・中筋啓夫 応動展 24: 86-92
巖 俊 - 自然 80: 44-50
Shigesada, N. J. Math. Biol. 9: 85-96
Okubo, A. Diffusion and ecological problems. Mathematical models. Springer-Verlag. Berlin
- 1981 Nakano, T. Res. Popul. Ecol. 23: 1-18
巖 俊 - 昆虫学最近の進歩(石川昌一編):
Shiyomi, M. Bull. Natl. Inst. Agr. Sci. Agr. Ser. A 27: 1-29
* Levin, S. A. Amer. Zool. 21: 861-875
- 1982 栗坂敬 生態学研究法講座(英) 19: 1-139
伊藤嘉昭 社会生態学入門(英大本協会)
林 幸治 インテグリティ 19: 216-221
- 1983 Kuno, E. Res. Pop. Ecol. Suppl. 3: 27-55
Nakamura, K. & T. Ohgushi. Res. Pop. Ecol. 25: 1-19
- 1984 * Gurlin, M. E. & Appl. Math. 42: 87-
- 1986 * Rosenzweig, M. L. Oikos 46: 239-
* Brown, J. S. J. Theor. Biol. 123: 151-
- 1988 根来尚. 日生態会誌 38: 9-17.
巖 俊 - (遺稿). 巖 俊 - 生態学論等(思索社): 733-742.

(講演) アリジゴフの棲息場所選択 日本動物学会第22回大会(大阪)生態学総合討論会(1951)

1952 島居田武 生態学概論(小沢誠改訂)

棲息場所選択と環境の評価. アリジゴフの棲息密度に關する実験的研究(1) 生理生態 5:1-16 (1952)

- 1953 宮地伝三郎・森主一 動物の生態. 岩波全書
沼田 卓 生態学方法論. 古今書院
島居田武 磯地獄の生物誌
- 1954 伊藤正吾 生理生態 6:55-62
- 1956 水野吉房・舟川忠司 日生態全集 6:93-96
Yoshikawa, K. J. Inst. Polytech., Osaka City Univ. Ser. D 7:229-243
- 1957 小野常一 日生態全集 7:45-51
久保浩洋 同上 7:80-84
- 1958 沼田 卓 生態学-豆蔵
- 1959 伊藤正吾 比較生態学
- 1960 小野常一 日生態全集 10:161-168
Maeda, H. J. Shimozaki Coll. Fish. 9:29-308
- 1961 森主一 宮地伝三郎 13th 動物の生態学(講演):25-29
羽田健三 信州大教育研究紀要 11:
- 1962 Ono, Y. Mem. Fac. Sci. Kyushu Univ. Ser. E (Biol.) 3:143-163
城山朋雄 生物科学 14:124-123
Mitsudera, M. Papers in Meteorol. and Geophysics. 13:35-101
- 1965 Ono, Y. Mem. Fac. Sci. Kyushu Univ. Ser. E (Biol.) 4:1-60
- 1966 水野吉房 日生態全集 16:93-97
橋川次郎 生態と進化(現代の生物学9) 岩波:49-70
- 1967 大竹昭郎 動物の生態学. 岩波全書
沼田 卓 「自然」(今西錦司理屈記各編巻原) 中山書店 163-186
- 1969 (宮地伝三郎. 動物社会 岩波総合大書)
- 1970 Iwao, S. Rev. Plant Protec. Res. 3:41-53
- 1972 水野吉房 河川と生態学:104-219
- 1973 Numata, M. Fund. Stud. Charact. Urban Ecosyst. (ed. M. Numata):117-123
杉山幸九 新編... 生物学史(沼田卓編):169-182
舟川忠司 生態学雑誌(天竺) 21:1-130
沼田 卓 自然保護と生態学(第1巻)
(宮地伝三郎 本邦文化(宮地伝三郎動物誌) 築地書店 4:1-77)
- 1975 松原幸一・石原通雄 数理(理論)生物学 SIT-2:10-17
- 1976 今西自由生 日生態全集 26:1-12
松原幸一・石原通雄 生理生態 17
- 1978 重定南吾子 数理科学 183:40-44
重定南吾子・寺本兵 日生態全集:28:1-8
- 1979 沼田 卓 生態学方法論 角裕
大久保 明 数理科学 198:13-18
Shigesada, N. J. Theor. Biol. 79
- 1980 種村正美・尾形忠房 数理科学 213:11-16
Tsubaki, Y. & N. Yamamura Res. Popul. Ecol. 21:322-344
Shigesada, N. J. Math. Biol. 9:85-96
沼田 卓 地球と生物圏(生物圏):1-9 (原海出版社)
Okubo, A. Diffusion and ecological-problems. Mathematical models. Springer-Verlag, Berlin.
- 1981 森岡 廣 生物の適応戦略 サイエンス社
- 1982 沼田 卓 生態学誌本. 環境科学雑誌 3:1-22
重定南吾子・寺本兵 個体論生態学全集 35:29-31
原和哉 生態学研究法講座 19:1-129
- 1983 Inoue, T. & T. Matsuura. Oecologia 56:264-271

(棲息場所選取と環境の評価 [52] ついで)

1985 Yamane, T. B. Jap. S. S. F. Sci. 51: 881-
 * Rosenzweig, M. L. & L. A. Abramsky. Amer Natural. 126: 405-417
 1986 長谷川政美・種村正美. 生物の生態学. 東海大出版会
 1987 松原俊明 Kontyû, Tokyo. 55: 543-548

アリジゴクの棲息場所選取 (予報) 日本動物学会九州支部会報 6: 1-5 (1952)

1953 宮地伝三郎・森主一 動物の生態 岩波全書
 沼田真 生態学方法論 古今書院
 1957 小野亨一 日生態会誌 7: 45-51
 久保浩洋 同上 7: 80-84
 1961 森主一 宮地伝三郎氏「動物の生態」: 25-39
 1962 Ono, Y. Mem. Fac. Sci. Kyushu Univ. Ser. E (Biol.) 3: 143-163
 1965 Ono, Y. 同上 4: 1-60
 1967 大竹昭郎 動物の生態学 共立全書
 1979 沼田真 生態学方法論 両稿
 1987 松原俊明 Kontyû, Tokyo. 55: 543-548

(誤読警告) アリジゴク個体の作る「場」について 動物誌 62: 132 (1953)

1957 小野亨一 日生態会誌 7: 45-52

(誤読警告) アリジゴクの分散と棲息密度との関係について 動物誌 63: 90-91 (1954)

1980 Shigesada, N. J. Math. Biol. 9: 85-96

Estimation of population density by spacing method. Mem. Fac. Sci. Kyushu Univ. Ser. E (Biol.) 1: 187-197 (1954)

1955 沼田真 千葉大文理学部紀要(自然科学) 1: 237-243
 原田真司・川柳部浩哉 日生態会誌 4: 162-165
 1956 * Cottam, G. & J. T. Curtis Ecol. 37: 451-460
 * Clark, P. J. Science 123: 373-374
 * Thompson, H. R. Ecol. 37: 391-394
 1957 * Cottam, G., J. T. Curtis & A. J. Catana Ecol. 38: 610-622
 小野亨一 日生態会誌 7: 45-51
 * Greig-Smith, P. Quantitative plant ecology London
 1959 沼田真・藤崎吉郎 動物の生態学(沼田真編) 古今書院: 40-120
 * Pielou, E. C. J. Ecol. 47: 607-613
 大竹昭郎 鳥取県下石研究報告 7A: 87-92
 1960 * Pielou, E. C. J. Ecol. 48: 575-584
 加藤隆史・細川隆英 生態学雑誌: 82-116
 Maeda, H. J. Shimane Coll. Fish. 9: 89-308
 鳥居白蔵 生態学雑誌: 375-435
 1961 * Bray, J. R. Oikos 12: 70-74
 * Crisp, D. J. J. Exp. Biol. 38: 429-
 1962 * Bray, J. R. Ecol. 43: 328-333
 * Beschel, R. E., P. J. Webber & R. Tippet Ecol. 43: 386-396
 * Goodall, D. E. Excerpta Botanica Sec B 4: 253-322
 * Catana, A. J. Jr. Bull. Ecol. Soc. 43: 80

(spacing method [54] → 53)

- 1963 * Catana, A. J. Jr. *Ecol.* 44: 349-360
 * MacFadyen, A. *Animal ecology*. 2nd Ed.
 Maeda, H. & Y. Nakada *Bull. Jap. Soc. Sci. Fish* 29: 1053-1056
 伊藤嘉昭 生物科学 15: 76-77, 122-125
- 1964 * Greig-Smith, P. *Quantitative plant ecology* 2nd ed.
- 1965 Ono, Y. *Mem. Fac. Sci. Kyushu Univ. Ser. E (Biol)* 4: 1-60
- 1966 * 奥山研雄 生物科学 18: 97-105
 * Southwood, T. R. E. *Ecological method*
- 1967 * Eberhardt, L. L. *Biometrics* 23: 207-216
 * Goff, F. G. & G. Cottom *Ecol.* 48: 793-806
 奥山研雄・伊藤嘉昭 生态学实践 5: 50-68
 沼田 康 生态学实践研究报告 9: 73-93
- 1968 * Schwerdfeger *Ökologie der Tiere II*
 * Good, N. F. *B. Tax. Bot. C.* 95: 240-
 * Lehman, R. L. *Nucl. Instr.* 64: 269-
- 1969 * Pielou, E. C. *An introduction to mathematical ecology*
 * Edgar, W. D. *J. Exp. Biol.* 50: 247-
 * Kimmey, J. W. *J. Forestry* 67: 296-
 * Williams, W. T. *J. Ecol.* 57: 635-
- 1970 Iwao, S. *Rev. Plant Protec. Res.* 3: 51-53
 Iwao, S. *Random counts in models and structures*: 117-159
- 1971 * Batchelder, C. L. *Ecol.* 52: 703-709
 * Warren, W. G. *Statistical ecology* 2: 87-112
 * Persson, O. *Statistical ecology* 2: 175-187
 Royama, T. *Res. Pop. Ecol. Suppl* 2: 1-91
 * Cox, F. *Mitt. B. Forst.* 1971: 1-
 * Pollard, J. H. *Biometrics* 27: 991-1002
- 1972 * Levinton, J. *Biol. B.* 193: 175-
- 1973 * Seber, G. A. F. *The estimation of animal abundance*. London
- 1974 * Wiens, J. A. *Am. Midl. Nat.* 91: 195-
- 1975 * Lang, H. H. *Oecologia* 20: 311-320
 * Laycock, W. A. *J. Range Man.* 28: 235-
- 1976 (P970E2. 生态学讲义 (共立出版) 2)
 * Harvey, P. H. *J. Exp. Mar. B.* 21: 99-
- 1977 * 杉井道夫 哺乳类科学 35: 69-71 (福岛大学)
 Miyata, I. *Rep. Ebino Biol. Lab. Kyushu Univ.* 2: 11-30
 * Pielou, E. C. *Mathematical ecology*
 伊藤嘉昭 動物生态学讲义. 古学书院
- 1978 * Margalef, R. *Oecologia* 2nd Ed. Barcelona: 1-903
- 1979 * Southwood, T. R. E. *Ecological method*. 2nd Ed
 松島俊明. 京都大学紀要 B55: 47-58
 * Martins, F. R. *O Método de Quadrantes*. São Paulo.
 * MacLeod, D. A. *Forest. Chro* 55: 57-
- 1980 * Gulmon, S. L. et al. *Oecologia* 44: 40-43
 * Kent, B. M. *Forest sci.* 26: 10-
- 1981 * Wasserman, R. J. *Behav. Ecol.* 9: 15-
- 1982 * 栗和政. 生态学讲义讲义 (共立出版) 19: 1-139
 * Lum, A. M. *Pharm. Biol. B.* 17: 363
- 1983 * Purchase, J. E. *Can. J. Bot.* 61: 809-
 * Greig-Smith, P. *Quantitative plant ecology* 3rd Ed. Oxford
- 1984 * Taylor, L. R. *Ann. R. Entom.* 29: 321-357
 Iwasa, Y. & E. Teramoto *J. Math. Biol.* 19: 107-124
- 1986 * 長谷川政美・種村正美. 生态学讲义 (共立出版). 生态学讲义
 生态学讲义讲义 17. 共立出版
 * Delincé, J. *Ecol.* 67: 1576-1581.
- 1987 Nakazono, T. & Y. Ono. *Ecol. Res.* 2: 265-277.
- 1989 * Humphrey, W. F. et al. *J. Zool.* 219: 177-201

分散と個体群圧力 トリミングの種息密度に与える実験的研究(Ⅱ) 日生態会誌 4: 71-79 (1954)

- 1957 * Solomon, M. E. Annual Rev. Ent. 2: 121-142
大竹昭郎 日生態会誌 7: 67-69
- 1958 大竹昭郎・船木謙・島根慶久 研究報告 6A: 107-116
- 1959 伊藤正春 日生態会誌 9: 207-215
- 1960 小野常一 同上 10: 161-168
Mañeda, H. J. Shimonoseki Coll. Fish. 9: 27-308
- 1961 伊藤正春 日生態会誌 11: 202-208, 232-238
森圭一 定規に即して「動物生態学」: 25-39
- 1962 小野常正 宇治県立大学研究報告 10: 23-29
- 1963 伊藤正春 動物生態学入門 古今書院
伊藤正春 生物科学 15: 76-79, 122-125
- 1964 * Lejkovitch, L. P. Oikos 15: 200-210
- 1965 Ito, Y. & K. Miyashita. Jap. J. Ecol. 15: 85-87
- 1966 Kiritani, K., M. Hoko & S. Iwao. Res. Pop. Ecol. 8: 133-146
-
- 1968 久野英二 九州大学学報 14: 131-246
- 1970 伊藤正春 動物生態学入門. 改訂版 古今書院
Iwao, S. Random counts in models and structures: 117-149
桐谷三治・法橋信房 ミチノカカノ個体群の生態学的研究
- 1971 * Pak, No-Myon 仁川教育大学教育研究報告 2: 41-45
小野常一 植物防疫 25: 10-19
- 1972 平上良一 個体群生態学全集 21: 18-29
- 1973 田中信房・小野常明 動物心理学年報 23: 27-38
- 1974 * Wolfenbarger, D. O., J. A. Cornell & D. A. Wolfenbarger Res. Popul. Ecol. 16: 43-51
- 1975 大久保明 生態学と環境 筑波大学誌
Sirota, Y. Kantyu 43: 233-241
- 1976 伊藤正春 動物生態学 古今書院
- 1978 Inouye, T. Res. Popul. Ecol. 20: 141-163
Sirota, Y. " 19: 170-170
- 1979 沼田正 生態学方法論 鳥稿
大久保明 筑波科学 198: 13-18
- 1980 Shigesada, N. J. Math. Biol. 9: 55-96
Narriba, T. J. Theor. Biol. 86: 351-363
Okubo, A. Diffusion and ecological problems. Springer-Verlag, Berlin.
- 1981 * Levin, S. A. Amer. Zool. 21: 865-875
- 1982 重定尚子・寺本采 個体群生態学全集 35: 29-31
野波利幸 " 35: 31-34
重和敬 生態学研究法講座(Ⅱ): 1-137
- 1984 Andow, D. A. & K. Kiritani. Appl. Ent. Zool. 19: 306-316
* Wetzel, R. E. & S. L. Risch J. Anim. Ecol. 53: 1-19
* Gurtin, M. E. Q. Appl. Math. 42: 87-
- 1985 Yamane, T. B. Jap. S. S. F. Sci. 51: 881-
- 1987 Yamane, T. Nip. Suis. G. 53: 1399-

層数と種数の関係について 生理生態 6: 118-126 (1955)

1955 藤崎吾郎 生理生態 6: 127-144
 1956 吉良寛夫 " 7: 72-77
 1959 沼田英・藤崎吾郎 植物生態学 (沼田英編): 40-720
 1961 Ogawa, H., K. Yoda & T. Kira Nature and Life SE Asia 1: 21-157
 1966 Kimoto, S. Esakia 5: 1-20
 1967 Kimoto, S. " 6: 27-54
 Nobuhara, H. Jap. J. Bot 19: 225-
 1973 木元新作 生物科学 24: 189-195
 川那部浩哉 シュリン生物学研究 9: 100-109
 木元新作 生物科学 25: 34-38
 1976 四川日出夫 生態学研究法講座 10: 1-72
 木元新作 " 14: 1-185
 1977 伊藤嘉昭 動物生態学研究法 吉岡学院
 小野秀一 草原と生態: 105-178
 1978 長沢純夫・伊藤博・山下三三 香川県農試報告 30: 42-49
 1984 Tanida, K. Phys. Ecol. Japan 21: 115-136
 1987 寺山守・松本忠夫 松山県総合自然観察会22年度実施した3種刈り払い自然生態系モニタリング調査報告(自然生態系モニタリング調査会): 221-232.

個体・分布と環境 生物科学特基号 分布と環境との相互関係: 53-55 (1956)

1957 小野秀一 日生態全集 7: 45-52
 1958 沼田英 生態学・環境
 1965 延原肇 生理生態 13: 35-41
 1979 沼田英 生態学方法論 自稿

(講演) 向陽法による下木分枝程度の測定 日生態学会第3回大会(仙台) (1956)

1960 加藤隆典・細川隆夫 生態学演説: 82-216

このように空間分布の個体群に対しては適用すべき3向階級利用密度推定法. 生理生態 7: 134-144 (1957)

英訳 U.S. Dept. Agr. Transl. 11116 ()
 " Nation. Res. Council of Canada. Tech. Transl. 1167 (1965)

1960 島尾重敏 生態学汎論: 375-435
 Maeda, H. J. Shimonoseki Coll. Fish. 9: 89-302

1961 大竹昭郎 島根大学研究報告 9 A-1: 209-221

1962 * Goodall, D.E. Excerpta Botanica Sec.B 4: 253-222
 * Boschel, R.E., P.J. Webbs & R.T. Tippet Ec. 43: 386-396
 沼田正. 現代統計学大辞典: 521-528
 大竹昭郎 生物科学 14: 76-86

1963 * MacFadyen, A. Animal ecology. 2nd Ed.
 1964 * Greig-Smith, P. Quantitative plant ecology. 2nd Ed.
 1965 * Goodall, D.W. J. Ecol. 53: 197-210
 Tagawa, H. Jap. J. Bot. 17: 127-145

1967 * Eberhardt, L.L. Biometrics. 23: 207-216

1968 * Lyon, L.J. J. Range Man. 21: 16-20
 * Lyon, L.J. J. Wildl. Man. 32: 115-118
 * Mawson, J.C. Forest Sci. 14: 127-

1970 Iwao, S. Rep. Plant Protec. Res. 3: 51-53
 Iwao, S. Random counts in models and structures: 117-159
 * Payandeh, B. Forest Sci 16: 212-
 * Westman, W.E. Aust. J. Bot. 13: 237
 * Batcheler, C.C. & D.J. Ball. Proc. N.Z. Ecol. Soc. 17: 111-117.

1971 * Batcheler, C.L. Ecol. 52: 703-709
 * Warren, W.G. Statistical Ecology (ed G.P. Patil et al) 1: 453-486
 * Westman, W.E. " 1: 515-536
 * Warren, W.G. " 2: 87-112
 * Persson, O. " 2: 175-187
 * Cox, F. Mitt. B. Fores. 1971: 1-
 * Ebert, T.A. Pac. Sci. 25: 112-
 * Pase, C.P. J. Range Man. 24: 959-

1973 * Seber, G.A.F. The estimation of animal abundance. London
 * Becker, D.A. J. Range Man. 26: 61-

1975 * Laycock, W.A. & C.L. Batcheler, J. Range Man. 28: 235-239.

1977 近藤正雄・松本忠夫. 生態学研究法講座 26: 62-74
 伊藤嘉昭. 動物生態学研究会. 石野書院
 山田常雄編. 岩波動物学辞典 第2版: 211

1979 * Martins, F.R. O Método de Quadrantes. São Paulo.
 * Parker, K.R. J. Wildl. Man. 43: 489-470
 * Patil, S.A. et al. Biometrics 35: 577-604

1980 * Gross, H.L. Can. J. Fores. 10: 190-
 * Oldemeye, J.L. & W.L. Ragelin J. Wildl. Man. 49: 662-666

1981 村上崇正. 環境調査評価技術手法の調査研究報告 京都市: 995-997

1982 * Enright, N.J. Aust. J. Ecol 7: 39-48
 * Byth, K. Biometrics 38: 127-135

1983 山田常雄編. 岩波動物学辞典 第3版: 229
 * Lamacraf R.R. Aust. J. Ecol. 8: 181-
 * Greig-Smith, P. Quantitative plant ecology 3rd Ed. Oxford

1984 * Poser, D. J. Appl. Bact. 56: 393-
 * Taylor, L.R. Ann. R. Entom 29: 321-357

1986 久野英二. 生態学研究法講座 (岩波出版) 17
 長谷川政美・種村正美. 動物の生態学. 東洋館出版

Measuring of the dispersion of individuals and analysis of the distributional patterns.

Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ., Ser. E (Biol.) 2: 215-225 (1959)

- 1960 Maeda, N. J. Shimonoseki Coll. Fish. 9: 89-308
- 1961 沼田 英 東大応用微生物研究所シンポジウム 2: 1-19
 河野 宗吉ほか 九大農学誌 19: 125-133
 Ogawa, H., K. Yoda & T. Kira Nature and Life SE Asia 1: 21-157
- 1962 * Pielou, E. C. Biometrics 18: 579-593
 Ono, Y. Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ., Ser. E (Biol.) 3: 153-163
 沼田 英 理式統計学大辞典: 521-528
 Hokyo, N. & K. Kiritani Jap. J. Ecol. 12: 228-235
 大竹昭郎 生物科学 14: 76-86
 * Goodall, D. E. Excerpta Botanica Ser. B 4: 253-322
 * Catana, A. J. Jr Bull. Ecol. Soc. 43: 80
- 1963 小坂四郎 日生態会誌 13: 226-230
 * MacFadyen, A. Animal ecology. 2nd Ed.
 Tagawa, H. Jap. J. Ecol. 13: 10-15
 伊藤嘉昭 動物生態学入門 古今書院
 Kobayashi, S. Res. Popul. Ecol. 5: 102-106
 Kuno, E. " 5: 31-53
 宮田 逸夫・小谷 信夫・小野 宗一 八重山群島学術調査報告書 2: 43-48
 田川 田 出夫 福山山原生態地域の生態学的調査の概要 I: 11-16
 伊藤嘉昭 生物科学 15: 76-79, 122-125
- 1964 * Greig-Smith, P. Quantitative plant ecology. 2nd Ed.
 Tagawa, H. Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ. Ser. E (Biol.) 3: 165-228
 沼田 英 千葉大文理学部生物学臨海研究所研究報告 6: 115-139
 Shiyomi, M. & K. Nakamura Res. Popul. Ecol. 6: 79-87
 小谷 信夫 八重山群島学術調査報告書 2: 181-246
 Miyata, I. 山口女子短大研究報告 18: 31-40
 * Lyons, L. A. Can. Entomol. 96: 1373-
- 1965 三谷 文夫 田水学会誌 31: 500-505
 志賀 正和 九州畜産学研究会誌 11: 74-78
 Ono, Y. Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ., Ser. E (Biol.) 4: 1-60
 Miyata, I. & T. Shiomi Jap. J. Ecol. 15: 29-39
 Nakasuji, F., N. Hokyo & K. Kiritani Res. Popul. Ecol. 7: 99-108
 Kobayashi, S. " 7: 109-117
 岸 宗良 四国農試報告 13: 1-106
 Tagawa, H. Jap. J. Bot. 19: 127-138
- 1966 * Horri, H. S. Amer. Nat. 100: 418-424
 * Southwood, T. R. E. Ecological method
 Numata, M. Bull. Mar. Lab., Chiba Univ. 8: 71-77
 水野 好 日生態会誌 16: 93-97
 * Green, R. H. Res. Popul. Ecol. 8: 1-7
 Kimoto, S. Esakia 5: 1-20
 中尾 宗一 九州畜産学研究会共同防除研究会誌 54: 1-21
- 1967 Ôtake, A. Appl. Ent. Zool. 2: 173-186
 * Lloyd, M. J. Anim. Ecol. 36: 1-30
 中村 英 日生態会誌 17: 57-63
 内田 俊郎 Kontyu 35: 196-204
 Kimoto, S. Esakia 6: 27-54
 嶋田 俊・巻 浩幸・伊藤 秀三 (JIBP-CT) 畜産調査誌 1977: 32-49
 * Richard, G. Ann. Epiphyt. 18: 95-

(Measuring of dispersion [59] 7.5)

1968 中村 栄 日経会誌 18: 192-197
 渡辺弘之・西沢喜八郎・西村綱夫 京大産学林報 40: 1-6
 五原正和 九大産学雑誌 23: 169-183
 Kitagawa, T. Bull. Math. Sci. Res. Ass. Statist. Sci. 13: 53-71
 久野 英二 九州産学雑誌 14: 131-244
 Iwao, S. Res. Popul. Ecol. 10: 1-20
 村一六・沼田 典 Ecol. Stud. Diatic Comm. Natl. Park for Nature Study 2: 1-7
 嶋田 健 草生学系一研究法に因りて研究(沼田 典編): 30-42
 " " " " : 84-98
 内藤 俊彦・岩波 雄七・飯塚 茂 " " : 128-134

* Batjli, G. O. J. Mamm. 49: 239-250

1969 Omura, M., I Miyata & T Hosokawa Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ. Ser. E (Biol.) 5: 77-94
 Saito, S. Res. Popul. Ecol. 11: 229-258
 Sugimoto, T. Jap. J. Ecol. 19: 1-8
 * Pielou, E. C. An introduction to mathematical ecology
 * Yarranton, G. A. Ecol. 50: 390-395
 中村 栄 日経会誌 19: 127-131
 金田 健二 インセクト 20: 9-19
 Hosokawa, T. Malayan forester 32: 405-413
 小林 富之雄 JIBP-PTS 第7期 昭43年度報告: 29-33
 藤 修 - " " : 34-47
 藤 修 - 国産産学雑誌 14: 1-16
 豊田 茂・沼田 典・小林 富之雄・岩波 雄七総合調査報告: 308-312

* Grant, P. R. Can. J. Zool. 47: 1059-
 * Demer, P. P. J. Zool. 47: 1059-
 * Hurlbert, S. H. Ecol. 50: 1-9

1970 伊藤 嘉三郎 動物生態学入門. 古今学社
 Umeya, K. & T. Kato Res. Popul. Ecol. 12: 35-50
 Iwao, S. Rev. Plant Protec. Res. 3: 41-53
 Iwao, S. Random counts in models and structures 1: 7-149
 桐谷 三雄・沼田 俊彦 ミナソコマシ 個体群の生態学的研究
 青山 隆雄・三上 孝一 稿読ニ関ルニ及海況ニ及ル魚類分布調査(沼田 典編): 93-118
 Ito, Y., A. Shibasaki & O. Iwahashi Appl. Ent. Zool. 5: 133-143
 * Alphey, T. J. W. Parasitol. 61: 449-

1971 * Hairstone, N. G., R. W. Hill & V. Ricci Statistical ecology (ed. Patil et al) 1: 337-353
 * Stiteler, W. M. & G. P. Patil " " 1: 423-452
 Iwao, S. & E. Kuno " " 1: 461-512
 上野 晴久・佐藤 昌 15: 211-214
 山田 雅雄・南田 徳雄・小山 信行 産学誌 15: 248-258
 富田 逸夫 昭産林報の生物生産に因りて研究(沼田 典編) 昭45年度: 61-71
 (久保 本 謙 " " : 72-86)

* Alphey, T. J. W. Parasitol. 63: 105-
 * Cox, F. Mitt. B. Fors. 1971: 10-
 * Dudley, C. O. Can. Entomol. 103: 1291-1313
 * Sajpranyik, L. " " 103: 1607-1625

1972 (藤 修・久野 英二 JIBP-PT 第7期 昭46年度報告: 6-10)
 Kitamoto, T. Res. Popul. Ecol. 14: 129-136
 Iwao, S. " " 14: 97-128
 北原 敏夫・西村 綱夫 京大産学林報 43: 152-161
 久保 本 謙 生物誌 12: 59-62
 吉田 公人 日経 54: 6-11
 沼田 俊彦 九州産学雑誌 16: 283-382

* Hummon, W. D. Marine Biol. 16: 349-
 * Boffi, E. " " 15: 316-
 * Miller, C. D. F. et al. Can. Ent. 104: 1995-1999

(Measuring of dispersion [197] 7.3)

- 1973 * Geze, J. *Marine Biol.* 20: 87-
山本 邦太郎・伊藤 信夫 生態学講座(片上) 14: 1-88
日刊 日出版 " 11a: 1-86
北沢 政夫 個体群生態学会報 24: 26-34
- * Griffiths, D. *J. Anim. Ecol.* 42: 263-283
嶋田 俊彦 基礎生態学 環境書誌
藤崎 泰治 応初誌 17: 31-38
Umeya, K. & N. Watanabe *Kontyu* 41: 396-444
河野 通昭・吉澤 正昭・村上 信三 九州病畜虫及研究会報 19: 67-70
Shiga, M. et al. *J. Invert. Pathol.* 21: 149-157
山岸 哲 現代生態学
- 1974 越智 憲太郎・片岡 正 日誌誌 56: 92-89
藤川 隆子 *Edaphologia* 10: 25-32
Ito, Y. & M. Nagamine *Appl. Ent. Zool.* 9: 58-64
Tanaka, R. *Res. Popul. Ecol.* 15: 121-137
久野 英二 応田統計 4: 39-53
久野 英二 " 4: 83-100
- * Patil, G. P. & W. H. Stiteler. *Res. Popul. Ecol.* 15: 238-254
* Pool, R. W. *An introduction to quantitative ecology*
* Burla, H., H. J. Schenker & W. Stalal *Oecologia* 17: 131-140
Nishida, T. *P. Hawaii Ent.* 21: 425-
* Fasham, M. J. R. *J. Exp. Mar. B.* 16: 93-
* Hedd, R. *Biometrics* 30: 295-307
Takenchi, M. *Develop. Biol.* 35: 335-
吉坂 澄石 微生物の生態(1) (慶大出版会): 146-162
- 1975 * Berry, J. F. *Copeia* 1975: 692-701
* Grassle, J. F. *Deep Sea Res.* 22: 957-
* Lang, H. H. *Oecologia* 20: 311-320
* Machan, R. *Marine Biol.* 33: 75-
* Romanovs, Y. E. *Zh. Obs. Biol.* 36: 227-
* Smith-Gill, S. J. *J. Morph.* 146: 35-54
* Staples, D. J. *J. Fish Biol.* 7: 25-
北沢 敏夫 生物科学 27: 169-179
Hozumi, K. *Jap. J. Ecol.* 25: 123-131
大久保 明 生態学と採取 筑波書誌
- * Williamson, G. B. *Ecol.* 56: 727-731
* Richards, P. & G. B. Williamson *Ecol.* 56: 1226-1229
* Johnson, L. K. & S. P. Nubbell *Ecol.* 56: 1398-1406
* Gill, D. E. *J. Ecol.* 63: 291-298
武田 博満 *Edaphologia* 12: 10-29
Fujikawa, T. *Appl. Ent. Zool.* 10: 254-262
Hagihara, A. *Res. Popul. Ecol.* 17: 229-239
渡辺 直・原田 三郎 陸北学雑誌 37: 47-58
志賀 正和 *Kontyu* 44: 537-553
- 1976 * Fraser, D. F. *Ecol.* 57: 238-251
* Masserva, P. L. *J. Anim. Ecol.* 45: 647-666
(17 司 正三 生態学講座 1: 1-126)
Doi, T. *Pub. Amakusa Mar. Biol. Lab., Kyushu Univ.* 4: 1-19
- * Hadden, R. L. *Forest Sci.* 22: 100-
Kato, M. *Rev. Ecol.* 85: 13-103-
* Lewis, S. W. *J. Helminth.* 50: 163-
* Poloheim, J. E. *Math. Biosci.* 30: 69-
* Racher, E. *Ber. D. W. Meer* 24: 276-

(Measuring of dispersion [59]-59)

- 1977 浅見忠彦. 海の生態学と測定 (日本水産学会編). 恒産社: 73-100
 山口常雄ほか編 基礎生物学辞典 第2版: 1084-1085
 * Christensen, J.B. et al. Can. Ent. 109: 1599-1606
 * Doan, J.F. " 109: 807-822
 * Gage, J. D. " : 319-
 * Lathief, M. A. et al. Can. Ent. 109: 1057-1062
 * Mathur, D. Am. Midl. Nat 97: 89-
 * Yeargan, K.V. & M. A. Lathief. Env. Ent. 6: 31-39
 * Margalef, R. Ecologia. 2nd Ed (Barcelona: 1-951
 甲尾翁 - 5"之学の進歩 (1名: 青土編) 水産館: 251-278
 Furuta, K. Appl. Ent Zool. 12: 313-324
 伊藤嘉昭 Kontyu 45: 451-458
 Miyata, I. Rep Ebino Biol. Lab., Kyushu Univ. 2: 11-30
 巖佐席・平本英 日生態会誌 27: 117-124
 Kondo, T. Jap. J Ecol. 27: 301-310
 * Pielou, E. C. Mathematical Ecology
 * Hubbell, S.P. & L.K. Johnson Ecol. 58: 949-963
 Kobayashi, F. JIBP Synthesis 17: 84-96
 Tanaka, R. & O. Murakami JIBP Synthesis 17: 112-122
 伊藤嘉昭 動物生態学研究法 古今学院
 田川日出夫 植物生態学講座 4: 171-177
 田川日出夫 群落の組成と構造 (3期産): 112-192
 中村好男 生態学研究法講座 26: 8-61 (共出版)
- 1978 Shiyomi, M. & S Kubo Res. Popul. Ecol. 20: 23-32
 * Talbot, F.M. & A.C Russell Ecol Monogr. 48: 425-490
 * Arbogast, R.T. & M.A Mullen Res. Popul. Ecol. 19: 148-159
 * Southwood, Ecological method. 2nd ed
 * Taylor, L.R., I.P. Waimod & J.N Perry J. Anim Ecol 47: 383-406
 Tanaka, M. et al. JIBP Synthesis 18: 147-163
 Tanaka, M. & T. Kikuchi Pub. Amakusa Mar Biol. Lab., Kyushu Univ 4: 215-233
 伊藤秀三 草地調査法 (沼田典編)
 沼田典
 * Johnson, P. C. Forest Sci. 24: 574-
 Furusaka, C. J. Agr Chem J. 52:
 * Hansen, S. R. Oecologia 35: 107-117
 * Yeargan, K.V. & M.A Lathief Env. Entomol. 6: 31-39
- 1979 Nojima, S. Pub. Amakusa Mar. Biol. Lab., Kyushu Univ. 5: 45-65
 鈴木天治 日生態会誌 29: 375-386
 浅見忠彦・高野昭 水産誌 23: 230-239
 沼田典 生態学手法講座 5編
 志賀正記 果樹試験報告 A6: 59-168
 * Real, L.A. Ecol 60: 481-485
 * Veblen, T.T. " : 937-945
 松原俊明 京都教育大紀要 B55: 49-58
 Abe, T. & T. Matsuimoto Jap. J. Ecol 29: 337-351
 岡道雄 佐賀県果樹試験報告 2: 1-66
 * Coster, J.E & P. C. Johnson Env Ent 8: 381-387
 * Downing, J.A. J. Fish. Res. 36: 1454-
 * Goodall, D.W. & N.E West. Vegetatio. 40: 15-27
 * Hermann, J. Arch. Hydrob. 85: 482-
 * Holadik, A. Oeco-Planta 14: 273-
 * Honogger, H.W. et al. J. Comp. Phys. 129: 247-256
 * Hubbell, S.P. Science 203: 1259-1309
 * Lathief, M.A. & R.D Irwin. Env. Ent. 8: 606-609
 * Perry, J.N. & R. Meid Biometrics 35: 613-622
 * Romanous, Y.E. Zh. Obs Biol. 40: 67-
 * Stauffer, H.B. J. Theor. Biol. 27: 19-25
 * Veblen, T.T. J. Biogeogr. 6: 327-
 * Yeargan, K.V. Env. Entom 8: 150-153

(Measuring of dispersion [59] 75)

1980

- * Thiele, D. & W. J. Bailey Austr J Ecol 5: 275-286
- * Veblen, T. T., F. M. Schlegel & B. Escobar J. Ecol. 68: 1-31
種村正美・尾形茂夫 数理科学 213: 11-16
江村一雄・小島昭雄 応物誌 24: 150-156
- Tsubaki, Y. & N. Yamamura Res. Popul. Ecol 21: 332-344
高井 昭・塩見正徳 応物誌 24: 234-240
- Tanaka, R. Res Popul. Ecol Suppl. 2
渡辺 進 陸水学誌 1: 2-16
渡辺 進 陸水学雑誌 41: 212-224
- Takizawa, K. & W. Sakamoto Bull. Jap Soc Sci. Fish. 46: 157-165
伊藤嘉昭・法橋信高・藤崎宣治 魚類・水生動物と群集 (東海不出版会)
- Hayase, S. & S. Tanaka Bull. Jap Soc. Sci. Fish. 46: 955-962
吉本和房 1980 論文 3 日本科学 50 年 岩波書店
(大沢 清 1980 基礎生物学ハンドブック 岩波書店)
- 谷田一三 陸水誌 41: 95-111
- * Pogrebov, V. B. Biol. Morya 1980: 48-
- * Amend, L. M. & S. K. Pierce J. Comp. Phys. 138: 299-306
- * Cording, C. L. J. Aus. Ent. S. 19: 129-
- * Hubbell, S. P. Oikos 35: 214-229
- * Montgome, W. J. J. Zool. 172: 379-
- * Rusmusse, D. R. F. O. L. Primal 34: 111-
- * Shzibol I. F. E. Marine Biol. 57: 75-
Watanabe, J. 4: 125-
- * Young, L. C. Env. Entomol. 9: 496-500
- * Bengmon, G. Env. Entomol. 9: 801-805
- Okubo, A. Diffusion and ecological problems. Springer-Verlag. Berlin
- Karaji, Y. Jap J. Sanit. Zool. 31: 1-6
- 森 俊一 数理科学 199: 72-77.

1981

- 長谷川 誠美・種村正美・樋口伊佐夫 統計数理研究 28: 79-97
- 種村正美・長谷川 誠美 " " 28: 61-78
- Kino, H. Jap. J. Ecol. 31: 43-56
- 鈴木重三 応物誌 25: 1-8
- * Morse, D. E. Ecol. 62: 81-88
- Kikuchi, T. et al. Publ. Amakusa Mar. Biol. Lab. 6: 23-34
- * Buchler, E. R., T. D. Wright & E. D. Brown Anim. Beh. 29: 483-486
- Shiyomi, M. Bull. Natl. Inst. Agr. Sci. Ser. A 27: 1-29
(古徳 祥・伊藤嘉昭 応物誌 25: 276-279)
- * Findley, S. E. G. Est Coast S. 12: 47-
- * Garrison, R. W. & J. E. Hafernik. Oecologia 48: 377-384
- * Geoffroy, J. J. Act. Oce.-Gen. 2: 227-
- * Hessing, W. B. J. Envir. Mag. 13: 55-
Kohyama, T. Bot. Mag. 94: 55-
- * Lamont, B. B. & J. E. D. Fox Oikos 37: 73-79
Makiya, K. Jap J. Bot. 51: 33-
- * Squors, E. R. Am. J. Bot. 68: 790-
- * Stanffer, H. B. J. Theor Biol. 89: 517-522
- * Veblen, T. T. J. Biogeogr. 8: 211-
- * Vogt, R. C. Am. Midl. Nat. 105: 102-
- * Buntin, G. D. & L. P. Pedigo Env. Ent. 10: 980-985

(Measuring of dispersion [59] 7'3)

1982

沼田 康 生態學讀本 東洋經濟新聞社: 3-22
 Matsushita, K., M. Shimizu & Y. Nose Bull. Jap. Soc. Sci. Fish 48: 355-362
 栗和敬 生態學研究法講座(英立) 19: 1-139
 Tanaka, S. Edaphologia 25, 26: 21-32
 Kanazawa, Y. Jap. J. Ecol. 32: 463-471
 * Huffaker, C. B. & B. M. Matsumoto Res. Popul. Ecol. 24: 250-267
 (伊藤嘉郎 日生態全集 32: 427-431)
 * Bird, G. J. Holarc Ecol. 5: 67-
 * Comita, J. A. Marine Biol 69: 187-
 Furuta, K. Z. Angew. Ent. 93: 513-523
 * Hensing, M. B. J. Range Man. 35: 517-
 Makiya, K. Jap J Exp. M. 52: 173-
 * Pierce, T. G. Pedobiol. 24: 91-
 * Schlesin, W. H. Batan Rev. 48: 71-
 * Stewart, G. H. Nz. J. Botany 20: 55-
 * Veblen, T. T. Biol. Conser 23: 191
 * Veblen, T. T. J. Biogeogr. 9: 11-
 * Veblen, T. T. J. Ecol. 70: 413-
 * Vincent, P. J. Forest Sci. 22: 181-
 * Williams, J. B. Arctic A. R. 15: 59-
 * Dajonbec, J. P. Rev. Ecol. B. S. 19: 455-
 Miyamoto, Y. Hiroshima J. Med. 31: 211-
 * Hawkins, B. A. & E. A. Cross Env. Entomol. 11: 762-775

1983

Nagata, T. & Y. Watanabe. Phys. Ecol. Japan 20: 71-79
 山田 崇 生態學研究法講座(英立) 19: 1-139
 Hijii, N. Jap. J. Ecol. 33: 435-455
 * Sakai, A. K. & N. L. Oden. Amer. Nat. 122: 489-508
 Kobayashi, S. Res. Pop. Ecol. 25: 221-227
 Soné, K. & H. Takeda Res. Pop. Ecol. 25: 376-382
 Arai, S. J. Fac. Agr. Kyushu Univ. 27: 193-
 * Yuen-shuang Ng et al. J. Econ. Ent. 76: 26-30
 * Abel, D. J. Mar. Ecol. Pr. 12: 257-
 * Alby, T. J. Nematol 15: 418-
 * Bekele, E. Hereditas 99: 73-88
 * Bret, B. L. et al. Ann. Ent. Soc. Am. 76: 847-852
 * Ferrer, F. P. & D. A. Crosskey. Env. Ent 12: 1303-1307
 * Shachak, M. & S. Brand. Oecologia 60: 371-377
 * Smith, C. R. Deep-Sea A 30: 907-
 * Wilson, L. T. J. Aus. Ent. S. 22: 129.
 Najima, S. Publ. Amakusa Mar Biol. Lab 7: 1-16
 Abe, K. J. Fac. Sci. Univ. Tokyo Sec. II 20: 443-488
 * Greig-Smith, P. Quantitative plant ecology 3rd Ed. Oxford
 (松本 忠夫. 社会性昆虫の生態. 培風館)

1984

* Jones, G. F. Biol. B. 165: 543-
 * Taylor, L. R. Ann R. Ent. 29: 321-357
 * Colby, D. R. Mar Ecol Pr. 16: 269-
 Iwasa, Y. & E. Teramoto J. Math. Biol. 19: 109-124
 * Schlesin, W. H. Bot. Gaz. 145: 116-
 * Pierce, T. G. Bot. Conser. 29: 241-
 * Abbott, I. Forest Ecol. 9: 101-
 後藤 啓雄 生態學研究法講座(英立) 19: 1-139
 渡辺 忠 生態學研究法講座(英立) 19: 1-139
 * Paine, T. D. Agr. Eco. Env. 11: 309-
 Nishihara et al. Bull. Mar Biol. Stn. Asamushi, Tohoku Univ. 17: 191-203
 * Read, G. B. NZ. J. Zool. 11: 309-
 長井 幸雄. 河野昭三編 社会性昆虫の個体群統計学(培風館):
 Ishizuka, M. Jap. J. Ecol. 34: 421-430
 * Heltche, J. F. Biometrics 40: 877-

(Measuring of dispersion ['59] 703)

- 1985 * Weller, S.F. *Biometrics* 40: 877-
渡辺直 応動誌 29: 107-112
- * Huenneke, L.F. *Amer. J. Bot.* 72: 152-
- * Payette, S. *Can. J. Forest.* 15: 241-
Kobayashi, F. *Z. Angew. Ent.* 99: 99-
(註文部: 小井正三 応動誌 29: 230-235)
- * Filpy, F.L. *J. Econ. Ent.* 76: 483-
- * Saitre, M.P. *B. Marine Sci.* 36: 226-
- * Bourgoim, A. *Ann. I. Ocean.* 61: 39-
- * Potter, D.A. *Oecologia* 66: 499-
- * Vanauken, O.W. *B. Tor. Bot. C.* 112: 118-
- * Reed, J. *Vegetatio* 63: 67-
- * Schnide, D.C. *Mar. Ecol. Pr.* 25: 211-
- * Shulman, M.J. *J. Exp. Mar. B.* 89: 205-
- * Sang, G. *Hydrobiol.* 128: 39-
- * Shea, K.L. *Am. J. Botany* 72: 1823-
- * Connell, J.H. & M.J. Keough. *The Ecology of natural disturbance and patch dynamics.*
(ed. S.F.A. Pechett & P.S. Whitt.) *Acad. Press*: 125-455.

- 1986 Kohno, M. et al. *Appl Ent. Zool.* 21: 15-20
長谷川政美・種村正美 本山下の生態系. 海洋出版会
守屋成一 応動誌 30: 106-110
- Yamoto, T. *Ecol. Res.* 1: 83-95
- Ito, Y. & R.L. Kitching. *Res. Pop. Ecol.* 28: 39-42
- * Johnson, R.G. *Am. Midl. Nat.* 115: 123-
- * Pogrebov, V.B. *Biol. Morya* : 30-
- * Stewart, G.H. *Ecol.* 67: 534-549
- * Thal, W.M. *Phytopathol.* 76: 190-
Watanuki, Y. *Auk* 103: 14-
- * Hamill, D.N. *Ecol.* 67: 952-957
- * Bowman, D.H. *Vegetatio* 65: 105-
- * Gosset, E. *Astro sp. Sc.* 120: 263-
- Makiya, K. *Jap. J. Exp. M.* 56: 61-
- * Schuh, W. *Phytopathol.* 76: 496-
Tokeshi, M. *Freshw. Biol.* 16: 235-
- * Baur, B. *Holarc. Ecol.* 9: 117-
Mukai, H. *B. Marine Sci.* 38: 266-
- * Stewart, G.H. *Can. J. Forest.* 16: 558-
志賀正三 応動誌 30: 247-253.
- * Buskirk, J.V. *Anim. Behav.* 39: 1781-1790
Kimura, M. et al. *Ecol. Res.* 1: 229-248
- * Parker, A.J. *Ecol.* 67: 1560-1567
- * Mazurkic, M. *Acta Therol.* 31: 55-
- * O'Brien, T.G. *J. Herpetol.* 20: 444-
- * Home, H.F. *Nat. Geog. R.* 2: 491-
- * Lazim, M.N. *Holarc. Ecol.* 9: 185-
- * Zamoreno, J.H. *Polar Biol.* 6: 139-
Ouchi, T. *Phy. E. Plan.* 44: 211-
- * Stewart, G.H. *Vegetatio* 68: 115-

(Measuring of dispersion [59] 測定)

- 1987 Yamamoto, T. Deep-Sea A. 33: 1729-
Yumoto, T. Ecol. Res. 2: 133-145
* Haack, R. A. Env. Entom. 16: 428-
* Rice, L. Phycologia 26: 297-
* Trumble, J. T. et al. Res. Pop. Ecol. 29: 155-166
* Andrew, N. L. Ocean. Mar. B. R. 25: 34-
* Kopachan, J. G. Can. J. Zool. 66: 2450-
* Sukardjo, S. Forest Ecol. 20: 233-
* Wheeler, T. A. J. Nematol. 19: 413-
* Wright, S. J. Oecologia 73: 543-
Kino, H. Parasitol. 95: 97-
* Mihail, J. D. Phytopathol. 77: 1126-
* Stocker, L. J. Mar. Ecol.-Pr. 33: 285-
Tanabe, K. Palaeogeog. P. 60: 219-
* Shea, K. L. Evolution 41: 124-
山村光司 個体群生態学全集 43: 115-122
Higashi, Y. Ecol. Ent. 12: 25-
Takeda, S. J. Exp. Mar. B. 113: 79-
Miyata, I. & T. Haramoto. Mem. Fac. Sci. Shimane Univ. 21: 115-125.

- 1988 * Bigwood, D. W. & D. W. Inouye. Ecol. 69: 497-507
Akimoto, S. Oecologia 75: 44-
* Arefiev, S. S. Dan SSAR 298: 1349-
* Olanya, O. M. Phytopathol. 78: 217-
* Pendleton, R. L. Am. J. Bot. 75: 267-
* Blower, S. M. & J. Roughgarden. Oecologia 75: 512-515
* Gambi, M. C. Aquatic Bot. 30: 267-
* Schuh, W. Phytopathol. 78: 432-
Yumoto, T. Ecol. Res. 3: 117-129
尾崎研一他. 応和民 32: 272-276
* Peterik, Jr. Appl. Envir. 54: 1360-
* Read, J. J. Ecol. 76: 558-
(桐谷圭治-入野果= 炭修-生態学論叢(思索社): 753-757)
Kikuzawa, K. Ann. Bot. 61: 727-
Marutani, T. J. Fac. Agr. Kyoto Univ. 33: 153-
Miyake, M. Forest Ecol. 75: 9-
* Blackwell, A. Ent. Exp. App. 48: 141-
* Johnson, D. A. Phytopathol. 78: 1389-
* Taylor, A. H. J. Ecol. 76: 1209-
* Gamito, S. L. Sarsia 73: 33-

- 1989 濱原尚登他. 金沢大学教育学部紀要 自然科学篇 38: 25-40
Makino, S. Res. Pop. Ecol. 31: 1-10
* Krivoshe, V. G. Zool. Zh. 68: 263-
* Mihaile, J. D. Can. J. Botany, 67: 76-
* Rosenheim, J. A. et al. J. Anim. Ecol. 58: 101-117
* Takeshi, M. et al. J. Anim. Ecol. 58: 681-692
* Lu, R. P. Theor. Pop. B. 35: 1-

Measuring of interspecific association and similarity between communities.
 Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ. Ser E (Biol.) 3: 65-80 (1959)

- 1961 Ono, Y. *Rec. Oceanograph. Works. Japan (sp No 5)*: 199-210
 沼田 勇 東大応用微生物研究シホ 2: 1-19
 Kikuchi, T. *Rec. Ocean. Works Japan (sp No 5)*: 211-223
- 1962 沼田 勇 現代統計学下辞典: 521-538
 Akitake, K. & I. Miyata *Jap. J. Ecol.* 12: 59-67
 大竹昭郎 生物科学 14: 76-86
 塩川 司 田水誌 28: 671-678
 * Goodall, D. E. *Excerpta Botanica Sec. B* 4: 253-322
- 1963 * MacFadyen, A. *Animal ecology*. 2nd Ed.
 Tagawa, H. *Jap. J. Ecol.* 13: 10-15
 宮田 逸夫・小谷 信夫 八重山群島学術調査報告 1: 23-42
 宮田 逸夫・小谷 信夫・小野 勇一 " 1: 43-48
 田川 日出夫 琉球山原生林地域の生態学的調査中向報告 1: 11-16
- 1964 * Greig-Smith, P. *Quantitative plant ecology*. 2nd Ed.
 Tagawa, H. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ. Ser. E. (Biol.)* 3: 165-228
 Kikuchi, T. *Spéc. Pub. Seto Mar. Biol. Lab. Ser II* 1: 21-44
 小谷 信夫 八重山群島学術調査報告 2: 181-246
 Miyata, I. 山口女子短大研究報告 18: 31-40
 Miyata, I. " 19: 1-6
- 1965 Ono, Y. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ. Ser. E (Biol.)* 4: 1-60
 Miyata, I. & T. Shiomi *Jap. J. Ecol.* 15: 29-35
 Nakasuji, F., N. Hukyo & K. Kiritani *Res Popul Ecol.* 7: 99-108
 岩本 良一 四国学術報告 13: 1-106
 Tagawa, H. *Jap. J. Bot.* 19: 129-148
- 1966 志賀正弘 九州痛風学研究会報 12: 3-6
 Tagawa, H. *Sci. Rep. Kagoshima Univ.* 15: 63-83
 Kikuchi, T. *Publ. Amakusa Mar. Biol. Lab., Kyushu Univ.* 1: 1-106
 Miyata, I. *Jap. J. Ecol.* 16: 241-247
 Kimoto, S. *Esakia* 5: 1-20
 * Horn, H. S. *Amer Nat.* 100: 419-424
 Kikkawa, J. *T. R S Nz Ecol.* 7: 215-
- 1967 Otake, A. *Appl. Ent Zool.* 2: 173-186
 Kimoto, S. *Esakia* 6: 27-54
 * Lloyd, M. *J. Anim Ecol.* 36: 1-30
 * Whittaker, R. H. *Biol Rev* 42: 207-264
- 1968 志賀正弘 九大農学五誌 23: 169-183
 久野 英二 九州学術報告 14: 131-246
 * Shoener, T. W. *Ecol.* 49: 704-726
 沼田 勇 沼田 Edaphologia 2: 2-6
 沼田 勇 草地生態学の解明に向する研究 (沼田 勇編): 30-42
 東 野 夫・原田 徳三 魚生生態学に於ける沼田の意義 I (岡山水誌): 1-27
 Kawanabe, H. et al *Seto Mar Biol. Lab. Ser II Pt II* 4: 45-73
- * Holmes, R. T. *Syst. Zool.* 17: 205-
- 1969 Omura, M., I. Miyata & T. Hosokawa *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ. Ser E (Biol.)* 5: 97-94
 Higashi, K. " 5: 95-113
 * Hurlbert, S. H. *Ecol* 50: 1-9
 * Orians, G. H & H. S. Horn *Ecol.* 50: 930-938
 沼田 勇 沼田 JIBP-PTS 1 沼田 勇編: 1-29
 * Grant, P. R. *Can. J. Zool.* 47: 691-
- 沼田 政治 沼田 (昆虫生態学系調査ブル-70) 宿島山総合調査報告書: 316-324
 沼田 政治・高木 三子 " : 325-328
 小坂 富士雄 JIBP-PTS 沼田 勇編 沼田 勇編報告: 29-33
- 1970 桐谷 至治・沼田 勇編 沼田 勇編報告 沼田 勇編報告の生態学的研究
 * Goodall, D. W. *Annual Rev. Ecol Syst.* 1: 99-124
 Tanaka, M. *Jap. J. Ecol.* 20: 102-110
 Okada, T. *Kontyu* 38: 187-194
 Tabata, O & H. Tsukahara *Bull. Jap. Soc. Sci. Fish.* 36: 1-8

(Measuring of association [197] 7.5)

1971 * Hedrick, P.W. *Evolution* 25: 276-280
 * Zaret, T.M. & A.S. Rand *Ecol.* 52: 336-342
 * Pulliam, H.R. & F. Enders *Ecol.* 52: 557-566
 * Ueckert, D.N. & R.M. Hansen *Oecologia* 8: 276-295
 * Huhta, V. *Ann. Zool. Fennici* 8: 483-542
 木元新作 *昆虫* 39: 310-319
 Numata, M. *Proc. 1st Indonesian Weed Sci. Conf. (Bogor)*: 41-58
 小沢景秋・塚原博 *魚養学雑誌* 18: 139-146

1972 * Levandowsky, M. *Ecol.* 53: 378-407
 * Menge, B.A. *Ecol.* 53: 635-644
 石田山雄紀子 *陸水学雑誌* 33: 82-91
 * Bloom, S.A. *Marine Biol.* 13: 43-
 * Gage, J. *J. Marine Biol.* 52: 237-
 1973 * Gage, J. *Marine Biol.* 20: 89-
 * Voigts, D.K. *Condor* 75: 392-
 田川日出夫 *生態学講座(英文)* 11a: 1-86
 Omura, M. *Rep. Ebino Biol. Lab., Kyushu Univ.* 1: 81-91
 * Whittaker, R.H. *Handbook of Vegetation Science* 5: 159-191
 木元新作 *生物科学* 25: 34-38
 1974 越智忠志夫・片桐正 *日林誌* 56: 82-89
 Nakamura, Y. *Appl. Ent. Zool.* 9: 65-72
 Fujikawa, T. " 9: 105-114
 坂上昭一・福田弘己・川野博 *生物科学* 7: 1-6
 渡辺通・原田三郎 *兵庫県立大学研究報告* 6: 7-13
 * Menge, B.A. *Ecol. Monogr.* 44: 189-209
 * Carothers, S.W. & R.R. Johnson *Amer. Zool.* 14: 97-103
 川部部雄哉・井上原信・松平正文 *淀川・河川致生と水生生態調査報告*: 114-120
 * Gage, J. *J. Marine Biol.* 54: 223-
 1975 * Berry, J.F. *Copeia* 1975: 692-701
 * Diamond, A.W. *Auk* 92: 16-39
 * Fedorenko, A.Y. *Limn. Ocean.* 20: 238-
 * Livingst. R.J. *Marine Biol.* 22: 19-
 * Warwick, R.M. *J. Marine Biol.* 55: 595-
 北元敏夫 *生物科学* 27: 169-179
 Rinn Y. D. & T. Shidei *Jap. J. Ecol.* 25: 141-143
 中尾英一 *昆虫誌* 19: 162-168
 * Lane, P.A. *Ecol. Monogr.* 45: 307-336
 Fujikawa, T. *Appl. Ent. Zool.* 10: 149-156
 1976 藤川徳子 *Edaphologia* 15: 1-11
 中尾英一 *生理生態* 17: 173-177
 遠藤彰 " 17: 335-347
 田川日出夫 *生態学研究法講座(英文)* 10: 1-74
 大森信・池田勉 " 5: 1-229
 * Fraser, D.F. *Ecol.* 57: 278-281
 * Grassle, J.F. & W. Smith *Oecologia* 25: 13-22
 * Messerve, P.L. *J. Anim. Ecol.* 45: 647-666
 河部雄哉・山本・森田・生田等(加藤泰幸他編) *中央公論社*: 413-422
 沼田真・林知久 *生態学集刊(沼田編)* 東京堂: 296
 * Garratt, M.W. *Am. Midl. Nat.* 96: 241-
 * Heck, K.L. *Marine Biol.* 35: 345-
 * Livingst. R.J. *Est. Coas. M.* 4: 373-
 * Livingst. R.J. *Fish. B.* 74: 311-
 * Tallamy, D.W. *et al.* *Env. Entom.* 5: 788-792
 * Zimmerman, M.S. *Marine Biol.* 39: 297-
 Nakamura, Y. *Pedobiolog* 16: 243-
 木元新作 *生態学研究法講座(英文)* 14: 1-171.

(Measuring of association [59] のこと)

- 1977 * Balitz, D.M. & G.V. Morsjohn *Auk* 94: 536-543.
* Heck, K.L. *Marine Biol.* 41: 335-
* Vambelle, G. J. *Waste P. C.* 99: 1671-
* Margalef, R. *Ecologia* 2nd Ed. Barcelona: 1-951
Kobayashi, F. *JIBP Synthesis* 17: 89-96
Iwao, S. *Res Popul Ecol.* 18: 243-260
(中村利男 生態学研究法講座 26: 8-61)
伊藤嘉昭 動物生態学研究法 古今書院
田川日出夫 植物生態学講座 4: 171-177
花岡資 論の生物群生と生産: 311-369
- 1978 * Hurlbert, S.H. *Ecol.* 59: 67-77
* Hubbell, S.P. & L.P. Johnson *Ecol* 59: 1123-1136
* Baker-Dittus A.M. *Copeia* 1978: 383-389
* Goodale, D.W.
* Johannsson, O.E. *Oecologia* 32: 303-321
* McIntosh, R.P.
Omura, M.
* Seapy, P.R. *Marine Biol* 96: 137-
Maeda, O. *Jap. J. Med. S.* 31: 27-
- 1979 金本白生 日生態会誌 29: 265-271
中村利男 応動民 23: 212-219
沼田岳 生態学方法論 再編
* Huhta, V. *Oecologia* 41: 11-23
* Bowker, K.G. & M.H. Bowker. *Copeia* 1979: 278-285
* Bushby, D.G. *Can. J. Zool.* 57: 1670-
* Henry, C. *Terre Vie* 33: 457-
* Kruse, W.H. *J. Env. Man.* 8: 237-
* Menge, B.A. *Oecologia* 41: 245-272
* Singer, F.J. *J. Wildl. Man.* 93: 937-944
* Smart, H.J. *Can. J. Zool.* 57: 2061-
* Fleming, T.H. *Am. Zool.* 19: 1157-1172
- 1980 * Ricklefs, R.E. & M. Lan. *Ecol.* 61: 1019-1024
* Leviton, P.J. & A.J. Kohn. *Ecol Monogr.* 50: 55-75
* Hebert, P.D. *J. Anim. Ecol.* 49: 593-602
田下部尚彦 長田野地区の環境に因る子飼三級生態: 210-223
* Bradstre, M.S. *Can. J. Zool.* 58: 2120-
* Feller, R.J. *Est. Coas M.* 11: 455-
* Horn, H.S. *CC/Agr. Biol.* 1980: 20-
* Johnson, J.H. *Can. J. Zool.* 58: 553-
* Sutherland, J.P. *Marine Biol.* 58: 71-
* Walls, F.E. *Aust. J. Mar.* 31: 599-
* Barbault, R. *Act. Oce-Gen* 1: 237-
* Walls, F.E. *Müllus. St.* 46: 300-
伊藤嘉昭・法橋信良・藤崎憲治 動物の個体群と群生 東海出版会
Ogi, H., T. Kubodera & K. Nakamura. *山階島研究* 12: 157-181
(松原徹 13の 本誌の水生生物: 27-51)
(大沢 隆 13の 基礎生物学ハンドブック 岩波書店)
(田川日出夫 鹿角島大 理研報告 29: 121-137)

(Measuring of association [59] 704)

1981

- Higashi, K. J. Fac Liberal Arts, Saga Univ. 13: 123-140
* Meserve, P. L. J. Anim. Ecol. 50: 745-757
* Linton, L. R., R. W. Davies & F. J. Wrona J. Anim. Ecol. 50: 283-292
長谷川政美・種村正美・樋口伊佐夫 統計数理研究報 28: 80-97
Fukuyama, K. Edaphologia 23: 17-28
Hayase, S. & S. Tanaka Bull. Jap. Soc. Sci. Fish. 47: 713-717
Imura, O. Jap. J. Ecol. 31: 139-146
Miyata, I. Phys. Ecol. Japan 18: 127-136
(中村好男・稲石正 Edaphologia 24: 1-10)
* Vodopich, S. J. B. Marine Sci. 31: 922-
* Johnson, J. H. Comp. J. Zool. 59: 2430-
* Johnson, J. H. Copeia 1981: 984-987
* Johnson, J. H. Fish. 79: 370-
* Lopezian, E. Marine Biol. 63: 29-
* Schwartz, C. C. & J. E. Ellis J. Appl. Ecol. 18: 353-353
* Sutherland, J. R. Am. Natural. 118: 499-517
* Vogt, R. C. Am. Midl. Nat. 105: 102-
Yoshitaka, S. Hydrobiol. 83: 275-
* Hajdu L. J. Vegetatio 48: 47-
* Wolda, H. Oecologia 50: 296-302

1982

- * Beklova M. Fol. Zool. 31: 271-
* Hubalek, Z. Biol. Rev. 57: 619-
* Johnson, J. H. Hydrobiol. 95: 97-
* Nash, P. D. M. Est. Coast S. 15: 475-
* Russo, A. R. Mar. Env. Res. 6: 83-
* Wynes, D. L. Am. Midl. Nat. 107: 294-
栗田正 生態学研究所誌 19: 1-139
本元新太郎 " 15: 1-152
* Crowley, P. H. & D. M. Johnson Ecol. 63: 1064-1077
* Smith, E. P. & T. M. Zaret Ecol. 63: 1248-1253
前田正 田舎集誌 32: 483-489
Terayama, M. Bull. Biogeogr. Soc. Japan 37: 7-10

1983

- * Tenore, K. R. J. Mar. Res. 40: 701-
* Coppeck, D. L. et al. Oecologia 56: 1-9
* Lewis, J. B. Mar. Biol. 73: 171-
* Weinstein, M. P. Mar. Ecol. Pr. 12: 15-
* Horn, M. H. Oecologia 58: 345-350
* Brenchle, G. A. Biol. B. 165:
* Fjeldsa, J. Ibis 125: 463-
Ishibashi, N. Crup. Prot. 2: 289
* Venrick, E. L. Fish. B. 81: 375-
* Wolda, H. Oecologia 58: 290-298
Miyata, I. Jap. J. Ecol. 33: 71-78
Tamaki, A. & T. Kikuchi Publ. Amakusa Mar. Biol. Lab. 7: 41-60
栗田正 田舎集誌 33: 101-112
鈴木英治 現代生態学の展開 (72): 282-287
Ishara, T. et al. Jap. J. Ecol. 33: 107-113
Terayama, M. Bull. Biogeogr. Soc. Japan 38: 93-103
* MacCab, G. T. Fish. Biol. 81: 815-

(Measuring of association [59] 703)

- 1984 * Jara, H. F. & C. A. Moreno *Ecol.* 65: 28-38
Ishizuka, M. *Jap. J. Ecol.* 34: 421-430
* Lasiak, T. A. *S. Afr. J. Zool.* 19: 51-
* Lopezjano, E. *Mar. Ecol. Pr.* 15: 13-
* Morans, C. A. *Mar. Ecol. Pr.* 15: 77-
* Taylor, L. R. *Ann. Rev. Ent.* 29: 321-357
Arimoto, T. *B. Jap. S. Sci. Fish.* 50: 205-
* Fulton, R. S. *Estuaries* 7: 38-
Soto, D. *Hydrobiol.* 119: 67-
* Green, J. M. *Marine Biol.* 86: 9-
長井 幸雄. 河野編 林床環境の個体群統計学 (培風館)
Tagawa, H. et al. *Researches on the ecological succession and the formation of volcanic ash soils on the Krakatau Islands* (ed. H. Tagawa). *Kyushu Univ.* 48-1
Omori, M. & T. Ikeda. *Methods in marine zooplankton ecology*. John Wiley & Sons.
- 1985 * (Mueller, L. D. & L. Altenberg. *Ecol.* 66: 1209-1210)
* Lim, T. M. & H. W. Khoo. *Ecol.* 66: 1682-1685
* Smith, E. P. *Env. Biol. F.* 13: 125-
* Ross, S. T. *Am. Natural.* 126: 24-
* Repenning, R. W. & R. F. Labisky. *J. Wildl. Manag.* 49: 1092-1098
Furukawa-Tanaka, T. *Jap. J. Ecol.* 35: 481-504
Kaneko, O. *Pedobiolog.* 28: 265-
* Martinke, K. A. *Can. J. Zool.* 63: 1753-
* Grant, S. A. *J. Ecol.* 73: 787-
Horikawa, H. *B. Jap. S. S. F.* 51: 1275-
* Eddleman, W. R. *Wilson B.* 97: 463-
Harada, E. et al. *Physiol. Ecol. Japan* 22: 37-57
Tagawa, H. et al. *Vegetatio* 60: 131-145
- 1986 * Witmer, G. W. *Can. J. Zool.* 64: 2333-
* 岸 洪新 *生态学* 30: 201-204
* Harris, M. P. *Ornis Scand.* 17: 41-
* Mathews, W. J. *Copeia* 368-
Ishikawa, S. & N. Watanabe *Mem. Fac. Sci. Kochi Univ. (Ser. D)*: 63-75
* Pitkin, B. R. *Ecol. Entom.* 11: 309-317
* Miller, A. C. *B. Marine Sci.* 79: 741-
Isono, M. et al. *Ecol. Res.* 1: 269-278
* Mathews, W. J. *Env. Biol.* 17: 81-
* Raperjam, E. *Hydrobiol.* 142: 137-
* Pitkin, B. R. *J. Nat. Hist.* 20: 1283-
* Goszczyński, J. *Act. Therol.* 31: 491-
Kikkawa, J. & D. J. Anderson. *Community ecology*. pp. 432
* Reiter, M. A. *J. Freshw. Ec.* 3: 511-

(Measuring of association [59] 2.3)

1987 Yoshikawa, K. Appl. Ent. Zool. 22: 207-215
 Kobayashi, S. Ecol. Res. 2: 101-111
 * Boltovsk, D. Mar. Micropa 12: 65-
 * Lasiak, T. Mar. Ecol-Pr 37: 1-
 * Rogovin, K.A. Zool. Zh. 66: 569-
 東和歌山県、トシホの緑地と環境と社会環境 皇海大出版会
 Takeda, H. Res. Pop. Ecol. 29: 291-346
 Ishibashi, N. J. Nematol. 19: 464-
 井村 治. 日本の昆虫群集(太田・武田編) 東海大出版会: 116-123
 Katano, O. Physiol. Ecol. Japan 24: 1-132
 手山守・松本忠天. 松山県被褥対策と環境と社会環境の自然生態系とその管理に関する研究.
 (日本自然保護協会): 321-338.

1988 * Bavluy, P.B. Env. Biol. F. 21: 127-
 * Monda, M.J. J. Wildl. Man. 52: 95-
 * Vogt, R.C. Copeia : 37-
 Fujikawa, T. Edaphologia 39: 29-37
 * Elaich, A. Appl. Anim. B. 19: 279-
 * Pontasch, K.W. Water Pres. 22: 619-
 * Mathews, W.J. J. Fish. Biol. 33: 273-
 Nakamura, Y. Soil Till. R. 12: 177-
 * Mathews, W.J. Copeia : 945-
 * Rorigue, J.L. Mammalia 52: 475-

1989 Imazumi, R. & M. Shiga. Appl. Ent. Zool. 24: 147-149
 Ishizuka, M. & S. Sugawara 日林誌 71: 89-98
 Fujita, M. Edaphologia 40: 1-12
 石塚真吾他. 日林誌 71: 127-136
 飯塚景記他. 東北水研研報 51: 135-155
 Hosono, H. J. Ethol. 7: 7-16
 * Bart, H.L. Env. Biol. F. 24: 173-
 * Warkentine, B.E & J.W. Rashlin. Copeia 1989: 195-198
 * Giuliano, W.M. et al. J. Mamm. 70: 639-641
 木元新作・武田博清. 群集生態学入門 (共立出版).

(講演要旨 本村美子と共同) 生物群集・環境における3量の取扱. I. モデル抽出実験 動植物 69: 80 (1960)

1973 菊地泰二 海洋生態学: 9-77

動物・環境評価 「動物生態学」(宮地信三郎編) 朝倉書店: 83-97 (1961)

1967 大竹昭郎 動物生態学 共立書

動物の個体群

「動物生態学」(宮地伝三郎 編) 朝倉書店: 163-262 (1961)

1962 森本尚武・佐藤中夫 応動昆 6: 190-195
大竹昭郎 生物科学 14: 76-86

1963 伊藤嘉昭 動物生態学入門 古今書院
高井昭 日生態会誌 17: 151-156
菅原利光 日本人口学会誌 4: 92-106
中村登流 山形島研究報告 3: 32-55
伊藤嘉昭 生物科学 15: 76-79, 122-125
Tanaka, R. Jap. J. Ecol. 13: 16-21

1964 大竹昭郎 " 16: 90-91
太田嘉四夫 生理生態 12: 291-299

1965 Fujii, K. Res. Popul. Ecol. 7: 43-51
平田貞雄 応動昆 9: 151-161

1966 Kikuchi, T. Pub. Amakusa Mar. Biol. Lab., Kyushu Univ. 1: 1-106
苗沢嘉一郎・四井綱兵 日生態会誌 16: 24-28
平田貞雄 " 16: 140-145
奥野良之助 応動昆 9: 72-73
田中亮 生存競争 古今書院

1967 Shiga, M. Mushi 41: 75-89
大竹昭郎 動物生態学 5: 5-11
小野宮一 生態学実習書 2: 27-107
田中亮 生存競争 古今書院

1968 渡辺弘之・苗沢嘉一郎・四井綱兵 京大農学部研究報告 40: 1-6

1969 Higashi, K. Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ. Ser. E (Biol.) 5: 95-113
田中亮 JIBP-PTS 第五巻: 1-20
伊藤嘉昭 個体生態学 1: 1-17
田中亮 日生態会誌 20: 13-25
伊藤嘉昭 動物生態学入門 改訂版 古今書院

1971 依田泰二 森林生態学 筑地書院
Yamagishi, S. Misc. Rep. Yamashina Inst. Ornithol. 6: 356-388
村上繁三 植物防疫 25: 372-378
" " 25: 31-36
藤原直男 昆虫と動物 22: 38-44
巖 俊一 生物科学 23: 14-22

1972 小野宮一 生態学講座(五巻) 18: 1-105
巖 俊一・花田実 " 22: 1-124
庄本正 筑地書院科学博物館報告 8: 7-119

1973 山岸宏 現代の生態学 講談社
菊池嘉二 海洋生態学: 9-77
杉山幸九 新編 動物学史(河田真編): 169-182
巖 俊一・桐谷圭治 採谷・桐谷編 総合防除(講談社): 39-69

1974 菊池嘉二 生態学講座(五巻) 13: 1-120
増井昌夫 和田・東・杉山編 "ホソヤ"の地域個体群の研究会: 47-54

1975 内田俊郎 生態学講座(五巻) 17
Sirota, Y. Kontyu 43: 233-241
大森進夫 日水誌 41: 615-629

1976 中村登流 鳥の社会 恩栄社
Mashiko, K. Jap. J. Ecol. 26: 229-231
金子自由生 日生態会誌 26: 1-12
太田嘉四夫 生理生態 17: 195-201
植松辰美 " 17:
Tanaka, M. " 17: 519-521
木元新作 生態学研究法講座(五巻) 14: 1-185
伊藤嘉昭 動物生態学 古今書院
塩越増典・菊池嘉二 海洋科学要説講座 5: 149-217

(動物の個体群 [21] 203)

- 1977 近藤正樹・松本乙夫 生態学研究法編(巻5) 26: 62-95
 Ono, Y et al. JIBP Synthesis 17: 63-84
 小野秀一 集団と生態 朝倉書店: 105-178
 伊藤秀三・宮田透夫 群落の組成と構造 朝倉書店: 76-101
 畑中正三 海の生物群落と生産: 2-68
 花園寛 " : 311-369
 田中昌一 " : 429-515
- 1978 山岸宏 山崎鳥研報 10: 199-299
 近藤憲久・前田光司 哺乳類科学 36: 41-57
 重定南幸子・寺本英 日生態会誌 28: 1-8
 松本乙夫・中村芳子 生態学研究法編(巻5) 23: 1-153
 和田豊次 両記生物 20: 18-22
- 1979 金本自由台 日生態会誌 29: 265-271
- 1980 Tsubaki, Y. & N. Yamamura Res. Popul Ecol 21: 332-344
 伊藤嘉昭・法橋信房・藤崎憲治 動物の個体群と生態
 山岸宏 行動の生物学 講談社
- 1981 加藤史房 個体群生態学会の報 34: 11-20
- 1982 山岸宏 新版現代の生態学 講談社
 寺和敬 生態学研究法編(巻5) 19: 1-139
 江口和洋 " 19: 140-219
 伊藤隆 蟻 10: 6-7
 黒田昌久 応用鳥学誌 2: 1-25
 黒田昌久 鳥の生態学 出版科学総合研究所 1-619
- 1983 今原錦司 季刊人文学 14(3)
 Yamamoto, M. Jap J. Ecol. 33: 263-270
 重定南幸子 西水研27報 39: 101-118
 (小原芳雄・生態学24巻2号(沼田編) : 22-30)
 Abe, K. J. Fac. Sci. Univ. Tokyo Ser II. 20: 993-998
- 1985 野島哲・玉置昭夫 個体群生態学会の報 40: 84-99.
- 1986 広木詔三 個体群生態学会の報 42: 13-23.
 Kikkawa, J. & D. J. Anderson. Community ecology. pp. 432
- 1987 東和敬ほか トホホの学芸誌 27巻4号 27巻4号編者. 重定南幸子編. 重定南幸子編
 木村吉幸 生物教育 27: 121-127
 木村吉幸 " 27: 191-196
 中西三智之・伊藤秀三 日生態会誌 37: 11-18
- 1988 小柳受実 日生態会誌 38: 229-242.
- 1989 Sekita, N. Appl Ent. Zool. 24: 155-156
 木元新作・武田博清. 群集生態学入門 (共出版)

動物統計生態学 「現代統計学大辞典」(南山堂刊) 東洋経済新報社: 528-535 (1962)

- 1970 Tanaka, M. Jap J Ecol. 20: 102-110
 1974 Nakamura, Y. Appl. Ent. Zool. 9: 65-72
 1979 沼田英 生態学方法論 2巻
 1981 (中村好男・稲石正 Edaphologia 24: 1-10)
 1987 (藤田正雄・中村好男・飛川信子 Edaphologia 37: 9-14)

*I*_s-index, a measure of dispersion of individuals Res. Popul. Ecol. 4: 1-7 (1962)

- 1963 高井昭 日生態全集 13: 151-156
 小林四郎 " 13: 226-230
 Kuno, E. Res. Popul. Ecol. 5: 31-43
 Kobayashi, S. " 5: 102-106
 奥野忠一 個性群生態学研究会報 4: 4-14
- 1964 Shiyomi, M. & K. Nakamura Res. Popul. Ecol. 6: 79-87
- 1965 Nakasugi, F., N. Hakyō & K. Kiritani " 7: 99-108
- 1966 * Green, R. H. " 8: 1-7
 * Southwood, J. R. E. Ecological method
- 1967 * Lloyd, M. J. Anim. Ecol. 36: 1-30
 田中亮 生態の生態 古今書院
- 1968 * Schwerdfeger Ökologie der Tiere II
 渡辺弘之 岡田孝一郎 四年生網元 京大環境学報 40: 1-6
 Kitagawa, T. Bull. Math. Sci. Res. Assoc. Statist. Sci. 13: 53-71
 久野英二 九州農試報 14: 131-246
 Iwao, S. Res. Popul. Ecol. 10: 1-20
- 1969 * Barom-Urbani, C. Ecol. 50: 488-492
 Tanaka, R. & M. Kanamori Res. Popul. Ecol. 11: 1-13
 Sugimoto, T. Jap. J. Ecol. 19: 1-8
 * De Moor, P. P. J. Zool. 157: 399-411
- 1970 * Mason, R. R. Can. Entomol. 102: 1036-1041
 Umeya, K. & T. Kato Res. Popul. Ecol. 12: 35-50
 Iwao, S. Rev. Plant Protec. Res. 3: 41-53
 Iwao, S. Random counts in models and structures: 117-199
- 1971 * Gérard, G. & P. Berthet Statistical ecology (ed G. P. Patil et al.) 1: 59-67
 * Hairston, N. G., R. W. Hill & V. Ritte " 1: 337-353
 * Stiteler, W. M. & G. P. Patil " 1: 423-452
 Iwao, S. & E. Kuno " 1: 461-512
 * Tostwaryk, W. Ann. Ent. Soc. Am. 69: 1424-1427
 * Dudley, C. O. Can. Entomol. 103: 1291-1313
- 1972 * McLead, J. M. Can. Entomol. 104: 1313-1330
 * Miller, C. D. F. et al. Can. Entomol. 104: 1995-1997
 巖 俊一 生物科学 23: 77-86 *
- 1973 * Huhzey, J. E. & R. A. Brandon Ecol. Monogr. 43: 59-77
- 1974 * Kogan, M. et al. Env. Entomol. 3: 607-617
 * Pieters, E. P. & W. L. Sterling Env. Entomol. 3: 598-600
 Nishida, T. P. Hawaii En. 21: 425-
 * Myers, J. H. Ecol. 74: 747-758
 久野英二 応用統計 4: 39-53
 " " 4: 83-100
 (巖 俊一 JIBP-PTS 統計班 第48年度報告: 2-7)
- 1975 (武田博洋 Edaphologia 12: 10-29)
 * Lang, H. H. Oecologia 20: 311-320
 * Reise, K. Pedobiolog. 15: 106-
- 1976 * Gemmel, M. A. Res. Vet. Sci. 21: 215
 増田増典・菊池春二 海洋科学基礎講座 5: 199-217
- 1977 * Pomeroy, D. E. Pedobiolog. 17: 115-
 Ono, Y. et al. JIBP Synthesis 17: 63-84
 伊藤高昭 動物生態学研究法
- 1978 * Southwood Ecological method. 2nd Ed
 * Braithwaite, R. W. & P. Gullan Aust. J. Ecol. 3: 109-127
 * Ives, P. M. " 3: 261-276
 * David, M. J. Stat. Plan. 2: 211-
 * Myers, J. H. Env. Entomol. 7: 619-621

(Index [62] → 3)

- 1979 * Plowman, K. P. *Austr. J. Ecol.* 4: 87-104
造具正衛・高井昭 応動昆 23: 230-234
* Coster, J. E. & P. C. Johnson *Env. Entomol.* 8: 381-387
* Doppelreiter, von H. *Z. Angew. Ent.* 88: 113-124
* Scott, R. R. *Nz. J. Zool.* 6: 497-
* Simonet, D. E. et al. *Env. Entomol.* 8: 397-399
* Boiteau, G. *Env. Entomol.* 8: 1139-1149
- 1980 高井昭・造具正衛 応動昆 24: 234-240
* Ansari, Z. A. *Hydrobiol.* 74: 209-
* Brenckle G. A. *Mar. Behav.* 7: 1-
* Cording, C. L. *J. Austr. Ent. Soc.* 19: 189-
* Kitron, U. D. *Parasitol.* 81: 235
* Montgomery, W. I. *J. Zool.* 192: 379-401
* Richerson, J. V. et al. *Env. Entomol.* 9: 90-93
* Suman, C. L. *Current Sci.* 49: 28-
* Hildrew, A. G. et al. *Oikos* 35: 387-396
* Schenker, R. *Rev. Suisse Zool.* 87: 1017-
* Bellgman, G. *Env. Entomol.* 9: 801-805
巖 修一. 数理科学 199: 72-77
青木俊雄. 論文=題名と日本文字50頁. 発行年度: 116
- 1981 Shiyomi, M. *Bull. Natl. Inst. Agric. Sci. Ser. A* 27: 1-29
Makiya, K. *Jap. J. Exp. M.* 51: 179-
* Montgomery, W. I. *Act. Theriol.* 26: 107-
* Srinivas, S. *Entomon* 6: 275-
* Suman, C. L. *Entomon* 6: 271-
* Turnbow, R. N. & R. T. Franklin *Ann Ent. Soc. Am.* 74: 351-358
- 1982 * Hildrew, A. G. & C. R. Townsend *J. Anim. Ecol.* 51: 797-815
宇和歌 生態学研究; 53巻 19: 1-179
Kondo, T. *Res. Pop. Ecol.* 29: 85-96
* Kidd, N. A. C. *J. Anim. Ecol.* 51: 297-312
* Aiko, C. J. R. *Can. J. Zool.* 60: 97-
* Coggin, D. L. & G. P. Dively *Env. Entomol.* 11: 169-172
* Commito, J. A. *Marine Biol.* 69: 187-
* Dempster, J. P. *Adv. Ecol. Res.* 12: 1-36
* Nilakhe, S. S. et al. *Econ. Ent.* 75: 416-421
* Steffey, K. L. & J. J. Tollosson *Env. Entomol.* 11: 223-226
* Story, R. N. & A. J. Keaster *Env. Entomol.* 11: 1019-1022
Makiya, K. *Jap. J. Exp. M.* 52: 173-
- 1983 * Rajfa, K. F. & A. A. Bernhymam, *Ecol. Monogr.* 53: 27-49
Hiji, N. *Jap. J. Ecol.* 83: 435-444
* Yuen-shaung NG et al. *J. Econ. Ent.* 76: 26-30
* Bret, B. L. et al. *Ann Ent. Soc. Am.* 76: 847-852
* Edwards, P. J. & S. D. Wratten *Oecologia* 59: 88-93
* Smith, C. R. *Deep-sea A.* 30: 907-
* Lawson, J. R. *Adv. Parasitol. Res.* 22: 261-
* Reed, W. I. *Biometrics* 39: 987-992
* Shaffer, R. *N.C. Ars. T. B.* 75
* Greig-Smith, P. *Quantitative plant ecology.* 3rd. Ed. Oxford
- 1984 * Colby, D. R. *Mar. Ecol. Pr.* 16: 219-
* Doyen, J. T. *J. Biogeogr.* 11: 13-
Iwasa, Y. & E. Teramoto *J. Math. Biol.* 19: 109-124
* Story, R. N. et al. *J. Econ. Ent.* 77: 491-494
* Sutton, R. D. *J. Anim. Ecol.* 53: 37-50
小村 繁男. 1983年一編 昆虫植物の相互作用論 (1983年):
* Taylor, L. R. *Ann. Rev. Entom.* 29: 321-357
- 1985 * Schuh, W. *Phytopathol.* 75: 1392-
* Hildrew, A. G. *Ecol. Ent.* 10: 403-
* Benson, D. M. *Plant Dis.* 69: 1049-

(Is-index [62] → 3)

- 1986 Takeishi, M. & Y. Ono *Ecol. Res.* 1: 37-46
Ito, Y. & R.L. Kitching. *Res. Popul. Ecol.* 28: 39-42
* Edelson, J.V. *J. Econ. Ent.* 79: 502-
* Schuh, W. *Phytopathol.* 76: 486-
Makiya, K. *Jap. J. Exp. M.* 56: 61-
* Contelo, W.W. *J. Econ. Ent.* 79: 74-
* Klausner, M.O. *J. Exp. Mar. B.* 97: 123-
* Edelson, J.V. *Env. Entom.* 15: 963-
- 1987 * Sparks, A.N. *J. Econ. Ent.* 60: 369-
* Andrew, N.L. *Ocean. Mar. B. R.* 25: 39-
* Stites, D.L. *Can. J. Fish.* 44: 1469-
- 1988 * Gramito, S.L. *Sarsia* 73: 33-
* Schuh, W. *Phytopathol.* 78: 932-
* Blackwal, A. *Ent. Exp. App.* 48: 141-
- 1989 * Straw, N.A. *Oecologia* 78: 121-130
* Whitehead, J.M. *Behaviour.* 108: 73-103

Application of Is-index to sampling techniques. *Res. Popul. Ecol.* 6: 43-53 (1964)

- 1965 Nakasugi, F., N. Hokyo & K. Kiritani *Res. Popul. Ecol.* 7: 99-108
- 1966 * Southwood, T.R.E. *Ecological method*
野次喜一郎・四村綱夫 日経生誌 16: 24-28
Kobayashi, S. *Res. Popul. Ecol.* 8: 51-61
1967 四村綱夫 *Kontyu* 35: 196-203
小野寺一博 JIBP-PTS 誌下刊 1966年度報告: 10-25
小野寺一 生誌学定題号: 87-107
- 1968 Kitagawa, T. *Bull. Math. Sci. Res. Assoc. Statist. Sci.* 13: 53-71
Iwao, S. & E. Kuno *Res. Popul. Ecol.* 10: 210-214
Tagawa, H. *Sci. Rep. Kagoshima Univ.* 17: 215-223
(四村綱夫 *Edaphologia* 2: 14-24)
(小野寺一博 JIBP-PTS 誌下刊 1966年度報告: 33-47)
1969 (巖佐一 " 1963年度報告: 34-47)
巖佐一 日経生誌学定題号 16: 1-16
- * DeMoore, P.P. *J. Zool.* 157: 379-411
- 1970 * Mason, P.R. *Can. Entomol.* 102: 1035-1041
Tanaka, M. *Publ. Amakusa Mar. Biol. Lab., Kyushu Univ.* 2: 51-120
Iwao, S. *Rev. Plant Protoc. Res.* 3: 41-53
Iwao, S. *Random counts in models and structures:* 117-149
- 1971 泉井一編 北里大教養部紀要 5: 43-56
- * Stiteler, W.M. & G.P. Patil *Statistical ecology* (ed. G.P. Patil et al.) 1: 423-452
- 1972 Iwao, S. *Res. Popul. Ecol.* 19: 97-128
- * Miller, C.D.F. et al. *Can. Entomol.* 104: 1975-1999
- 1973 Shiga, M. et al. *J. Invert. Pathol.* 21: 149-157
- 1974 Nishida, T. *P. Hawaii En.* 21: 425-
- * Fasham, M.I.K. *J. Exp. Mar. B.* 16: 93-
- * Pielou, E.C. et al. *Env. Entomol.* 3: 598-600
- * Patil, G.P. & W.M. Stiteler *Res. Popul. Ecol.* 15: 238-254
Yamaguchi, T. & M. Tanaka *Jap. J. Ecol.* 24: 165-174
- 1975 石井寿・唐井良明 防虫科学 40: 73-80
- 1976 渡辺直・原田三郎 生誌学定題号 37: 47-58
石井寿・唐井良明 生誌学定題号 17: 549-555
(石井寿・唐井良明 徳島大教養部紀要 9: 15-46)

(Application of Is-Index ['64] → 3)

1977 Ono, Y. et al. JIBP Synthesis 17: 63-89
 伊藤 善昭 動物生態学研究会
 * Levinton, J.S. : 111-

1978 * Southwood, T.R.E. Ecological method. 2nd Ed.
 Tanaka, M. JIBP Synthesis 18: 147-163
 Tanaka, M. & T. Kikuchi. Pub. Amakusa Mar. Biol. Lab, Kyushu Univ. 4: 215-233

1979 " " " " 5: 79-115
 * Simonat, D. E. et al. Env. Entomol. 8: 397-399

1980 * Cording, C. L. J. Aust. Ent. S. 15: 189-
 * Sumon, C. L. Current Sci. 49: 28-
 * Beugman, G. Env. Entomol. 9: 801-805

1981 Makiya, K. Jap. J. Exp. M. 71: 231-
 * Shulman, M. J. et al. J. Theor. Biol. 88: 407-420
 * Sumon, C. L. Entomol. 6: 271-

1982 * Alho, C. J. R. Can. J. Zool. 60: 97-
 栗和哉 生態学研究会 19: 1-139

1983 * Wilson, L. T. J. Aust. Ent. Soc. 22: 129
 * Alby, T. J. Nematol. 15: 414-
 Hiji, N. Jap. J. Ecol. 33: 435-444

1984 * Taylor, L. R. Ann. Rev. Entomol. 29: 321-357
 * Boag, P. T. & P. P. Grant. Ecol. Monogr. 54: 463-489

1987 Higashi, Y. Ecol. Ent. 12: 25-

A revision of the methods for estimating population values of dispersion in the Is-method.
 Res. Popul. Ecol. 7: 126-128 (1965)

1968 Kitagawa, T. Bull. Math. Sci. Rep. Assoc. Statist. Sci. 136: 53-71
 * Schwerdfeger Ökologie d. Tiere II

1970 Iwao, S. Rev. Plant Protec. Res. 3: 41-53
 Iwao, S. Random counts in models and structures: 117-159

1984 * Taylor, L. R. Ann. Rev. Entom. 29: 321-357

生命経済表について 日生態会九州地区会報 9: 6-12 (1965)

1966 川部 謙哉 生態と進化 (現代の生物学 9): 123-152

1968 田中 純生 Edaphologia 2: 14-21

1972 小野 宏一 生態学講座 (第5) 18: 1-105
 川部 謙哉 日生態会誌 22: 141-159

1974 立川 賢一 海洋の水産資源解析 6: 34-39

1977 Tsubaki, Y. Rep. Ebino Biol. Lab., Kyushu Univ. 2: 11-30

1979 池田 清彦 山梨大学教育学部研究報告 30: 45-58

(編者) (小野宏一 ほかと共同) 祖母山におけるカモシカ頭数の推定 日生態学会第12回大会(札幌) (1965)

1973 奥野 一 編 北里大学紀要 1973: 1-20

The fitting of the logistic equation to the rate of increase of population density.
 Res. Popul. Ecol. 7:52-55 (1965)

1967 高橋文樹 生態学実習書: 141-146
 1968 * McClanahan, R.J. Can. Entomologist 100: 549-556
 * Schwerdfeger Ökologie d. Tiere II.
 1969 伊藤嘉昭 JIBP-PTS 個体の生長・死亡に与る生産諸量の变化
 1971 高橋文樹・山本義彦 JIBP-PTS 森下班 08 45年度報告: 35-41
 1972 Takahashi, F. & Y. Yamamoto Kontyu 40: 55-64
 山口昌哉 非線形現象の数学 朝倉書店
 * Krebs, C.J. Ecology. (Hesper & Row) 1st ed. New York.
 1974 高橋文樹・大島義造編 昆虫の行動と適応: 336-342
 1976 Takahashi, F. Phys. Ecol. 17: 475-501
 1977 Ito, Y. Appl. Ent. Zool. 14: 303-312
 Ito, Y. et al. Res. Popul. Ecol. 19: 33-50
 伊藤嘉昭 動物生態学研究法 古今書院
 * Lewis, E.R. Network models --- : 1-402
 * Caughley, G. Analysis of vertebrate populations. John Wiley.
 1978 * Krebs, C.J. Ecology. 2nd ed. New York
 1979 Ito, Y. & H. Kawamoto Res. Popul. Ecol. 20: 216-226
 1980 Eguchi, K. " 22: 284-300
 伊藤嘉昭・法橋信彦・藤崎嘉治 動物の個体群と群集
 * Abramsky, Z.A. & C.R. Tracy. Oikos 24: 347-355
 1984 Imai, Ch. Res. Pop. Ecol. 26: 353-362
 1985 村上興正 現代生物学大系 12a(生態A)(中山書店): 248-253
 * Krebs, C.J. Ecology 3rd Ed. New York
 1986 * Swenson, J.E. et al. Wildl. Monogr 95 (Suppl. J. Wildl. Manag. 50(21)): 5-46
 1987 * Temba, A. Afr. J. Ecol. 25: 71-
 1988 * Natsukary, Y. J. Exp. Mar. B. 116: 177-
 小林 貞実. 日生態全集 38: 229-242.

(総合討議) 生命表の役割とその評価 (第3回個体群生態学会白旗シンポジウム) 個体群生態学会報 10: 3-9 (1966)

1967 河村 栄 日生態全集 17: 57-63

JPTS 社会性昆虫グループ・アリ類サブグループ・第1回研究会報告. JIBP-JPTS-SI アリ(1): 1-7 (1967)

1987 寺山 守・松本 悠夫. 松くい虫被害対策として実施された特別防除法が自然生態系に与える影響評価に関する研究 (日本自然保護協会): 321-328.

動物群集における個体量と個体数との関係. 陸上動物の個体数現存量調査法の研究 (JIBP-PTS 森下班) 1966年度報告: 35-37 (1967)

1971 依田 泰二 森林の生態学 筑地書信

京都近郊における蝶の季節分布 「自然, 生態学的研究」(松下正明・吉原幸夫編) 中央公論社: 95-132 (1967)

1968 大津定一・西野敏勝 九州昆虫研究会報 14: 42-43
 1969 合田健二 昆虫 20: 9-19
 1971 Sakagami, S. F. & H. Fukuda Kontyu 39: 14-19
 1973 日浦亨 自然史研究 1: 51-64
 (" Nature study 19: 97-101)
 (" 海と昆虫の生態 秀樹書店)
 1974 村上昭一・福田弘二・川野博 生物科学 9: 1-60
 村上昭一 京都府の昆虫動物 京都府: 13-18
 1976 河端政一 生理生態 17: 359-363
 田川日出夫 生態学研究法講座 10: 1-74
 木元新作 " 14: 1-185
 日浦亨 自然史研究 1: 95-110
 1977 伊藤芳三・吉田透夫 群落の組成と構造 朝倉書店: 76-111
 木元新作 生物科学 29: 78-82
 小町宗一 集団と生態: 165-178
 1978 Ono, Y. et al. JIBP Synthesis 18: 178-199
 1980 浜崎悦治 日生態学誌 30: 347-358
 1981 森田康夫・田川日出夫 文部省計研(総合A)(代産系昆虫論2種)成果報告: 47-59.
 1982 富田一治 Japan Heterocerists J. 117: 262-278
 前田 暎一・田中真悟 日生態学誌 32: 483-489
 1983 Terayama, M. Bull. Biogeogr. Soc. Japan 38: 77-103
 1984 Sato, H. Edaphologia 31: 13-19
 Tada, M. J. Phy. Ecol. Japan. 21: 131-172
 1985 Katakura, H. & Ueno R. Jap. J. Ecol. 35: 461-468
 Tagawa, H. & E. Suzuki. Origin and evolution of diversity in plants and plant communities (Ed. H. Hara) Acad. Sci. Book Inc. (Tokyo): 82-87
 1986 藤田昇 種生物学研究 10: 1-13
 * (茅渚新 応動昆 30: 201-209)
 Saito, S. Bull. Biogeogr. Soc. Japan. 41: 45-50
 1987 寺山守・松本忠夫 松山昆虫の分布調査とその実地での防除から自然生態系に与える影響評価に因る研究 (日生態学協会): 321-328
 1988 佐藤英文. Edaphologia: 38: 11-16
 Yajima, T. Kagoshima Univ. Res. Cent. South Pacific Occ. Pap. No.14: 63-81
 福田晴夫・高橋達三 蝶の生態と観察. 筑地書館
 1989 谷塚繁紀・永沼瑛・浅野政広. 東北水産研究 51: 135-155.
 (田中 器. 日本の生物 3: 61-69)
 木元新作・武田博清. 群集生態学入門. (共出版)

(講演) (村上興生と合同) ネズミ類のホー4レンジ推定法 日本生態学会第15回大会 (1968)

1971 村上興生 植物防疫 25: 419-426
 1972 Tanaka, R. Res. Popul. Ecol. 13: 127-151
 1974 Tanaka, R. " 15: 121-137
 1977 Tanaka, R. & O. Hatakami. JIBP Synthesis 17: 112-122
 1980 Tanaka, R. Res. Popul. Ecol. Suppl. 2
 1985 * Wilson K. R. & D. R. Anderson. Ecol. 66: 1185-1194

カモシカ密度の推定法 陸上動物の個体数現存量調査法の研究 (JIBP-PTS 第7班) 昭42年度報告: 3-10 (1968)

1971 依田系二 森林の生態学 筑地書館
 1982 樋口輔三 研究報告 9: 13-29

(近藤正樹ほかと共著) アリ類個体数現存量調査手法の比較 陸上動物-個体数現存量調査法の研究 (JIBP-PTS 最下巻) 昭42年月報号:66-68 (1968)
 1977 近藤正樹・松本忠夫 生態学調査法講座(英誌) 26:62-99

(川那部浩哉・小野寺好正と共著) 生産に因る測定法と生産構造 陸水生物群集の生産力測定法(JPE) V:5-20 (1968)
 1968 田中純三 Edaphologia 2:14-21
 1969 牧野芳・中森子・浦本彰夫 和歌山大学研究紀要 自然科学 20:43-54
 1971 重和敏 昭安樹林の生物生産に因る研究(細川隆天誌) 昭45年号:89-99

(小野寺好正と共著) サンプルリングのための理論的基礎 カンキョウ病害虫の共同防除の合理化に因る研究 (日本植物防疫協会・九州果樹病虫共同防除協議会):4-16 (1969)
 1972 藤家 梓 応用昆虫学 16:87-93
 1977 中野好一 (英訳) 生態学 251-278
 Iwao, S. JIBP Synthesis 17:21-46

(川那部浩哉と共著) 生産に因る諸量と諸量間の関係 陸水生物生産研究法 講談社:345-352 (1969)
 1977 花岡 寛 池の生物群集と生産:311-363

個体群と栄養段階の生産量測定 陸水生物生産研究法 講談社:357-367 (1969)

- 1968 田中純三 Edaphologia 2:14-21
- 1970 牧野芳ほか 和歌山大学研究紀要 自然科学 20:43-54
- 1971 重和敏 細川純 昭安樹林の生物生産に因る研究(DS45年号):87-99
- 1972 小野寺好正 生態学講座(英誌) 18:1-105
- 1975 Gose, K. et al. JIBP Synthesis 10:339-377
- 1976 Hara, M. & Y. Ono Amakusa Mar. Biol. Lab., Kyushu Univ. 4:21-40
- 1978 Higashi, K. JIBP Synthesis 18:199-207
- 1979 Higashi, K. et al. Odontologia 28:159-169
- 1982 重和敏 生態学調査法講座 19:1-139
- 1983 Nakasone, Y. et al. Bull Coll Educ. Univ. Ryukyus 26:77-83
- 1984 Omeri, M. & T. Ikeda. Methods in marine zooplankton ecology. John Wiley & Sons.

(村上興正と共著) ニホンカモシカの生態学的研究 白山の自然(白山学術調査団編):276-321 (1970)

- 1971 岩瀬 純二 丹波野原保護同遊会及鳥舎会誌 17:21
- 1973 村井 道夫 白山自然保護マンスリー 1:109-122
- 平田 貞雄ほか 弘前大学研究紀要 30(B):23-26
- 平田 貞雄・吉田 信治・水原 辰夫 ニホンカモシカの分布状況に因る分布 2.3:1-12
- 1974 村上 興正 京2P所の野鳥動物 京2P所:129-136
- 1975 野島 哲 Vulpes 3:1-7
- 平田 貞雄ほか カモシカ調査報告書(青森県教育):1-52
- 村上 興正 生態学講座(英誌) 356
- 千葉 樹司・山口 信彦 神奈川大学理学部報告(自然科学) 8:21-36
- 1976 村井 道夫 生理生態 17:33-45
- 池田 貞雄ほか 庄内地区のカモシカ:1-64
- 小野寺好正ほか 大分県文化財調査報告書 36:1-11
- 1977 平岡 誠三・渡辺 弘之・寺岡 康生 日経誌 59:200-206
- 伊藤 幸昭 動物生態学研究法
- 1978 小野寺好正・重和敏・工藤 昭夫 日本自然保護協会報告書 55:189-212
- 井内 正敏ほか " 55:27-69
- 和歌山県自然環境研究会 " 55:155-180
- 井内 正敏・金本 登・吉田 正人 " 55:223-265
- Shidei, T. JIBP Synthesis 18:23-

(ニホンカモシカ [70] → 3)

1977 (本谷勲代 自然保護の生態学 塩尻信)
 花井正光 白山自然保護セン-報告 5: 87-96
 栗 込 日本自然保護協会報告 56: 77-102
 花井正光 " 56: 367-371
 小野勇一 土肥昭夫 " 56: 413-417
 大町市 鳥獣害性調査報告書: 29-51
 野崎英吉 哺乳類科学 37: 83-124
 羽田健三 130 ニホンカモシカ生態環境調査報告書 (長野管区局)
 (角田保 カモシカ生態調査結果報告書 三重県)
 1980 水野昭憲・坂本友男 白山自然保護セン-報告 6: 79-87
 下北半島ニホンカモシカ調査会 下北半島のニホンカモシカ
 伊藤嘉昭・法橋信方・藤崎憲治 動物の個体群と群集
 1981 和歌山県教育委員会 昭54・55年度ニホンカモシカ緊急調査報告書
 高槻成紀・原股守吉・鈴木和男 日生態全集 31: 431-439
 Sakurai, M. Phys. Ecol. Japan 18: 163-212
 村上興正 環境影響評価技術手法調査研究報告 京研研: 445-457
 1982 栗 込 生態学論文法講座(共立) 19: 1-139
 水野昭憲・上馬康生・坂本友男 白山自然保護セン-報告 8: 59-72
 石川県 尾浜川流域自然環境保全対策調査報告書
 1983 Maruyama, N. & S. Nakamura Jap. J. Ecol. 33: 273-281
 1985 川崎立夫 ニホンカモシカの繁殖・形態・生態とその個体群特性に因る基礎的研究(予稿編): 305-336
 1986 山形県教育委員会 昭60年特別天然記念物カモシカ食害対策業務作務防止調査報告書
 1987 富山・石川・福井・岐阜県教育委員会 昭60.61年度白山カモシカ保護地域特別調査報告
 1988 池田善英 哺乳類科学 28: 25-26.

(水野昭憲と共著) ニホンツキワグマの習性と個体数推定 白山-自然(白山管区調査団編): 322-329 (1970)

1972 水野昭憲ほか 京大産学誌報告 43: 1-8
 1973 桜井道夫 白山自然保護セン-報告 1: 109-122
 山本敏子 白山調査会 1972年度報告: 47-59
 桜井道夫・花井正光・水野昭憲 " : 43-47
 1975 花井正光 白山自然保護セン-報告 2: 77-83
 朝日誌 生物科学 27: 96-102
 1976 朝日誌 昭50年度シカ調査報告: 15-23
 1977 池原貞雄ほか ツルマシカの生態調査報告書: 33-55
 小野勇一 Vulpes 5: 5-7
 1978 吉村健次郎 北方双葉 30: 305-307
 1979 野崎英吉 哺乳類科学 37: 97-124
 富田清男 三重県庁報告 自然科学 1: 5-62
 (本谷勲代 自然保護の生態学 塩尻信)
 1980 朝日誌 遷位 24: 74-79
 1981 阿部永 動物分布調査報告書 哺乳類(日本野生動物研究会セン-編) 2: 87-96
 村上興正 環境影響評価技術手法調査研究報告 京研研: 445-457
 1982 石川県 尾浜川流域自然環境保全対策調査報告書
 1983 水野昭憲・花井正光 白山自然保護セン-研究報告 9: 85-94
 1985 洞澄俊裕 哺乳類科学 50: 11-16

(村上興正と共著) 白山に於けるワシ・小哺乳類の分布 白山の自然(白山市街調査団誌): 330-334 (1970)

- 1978 花井正光 白山自然保護センター 報告 4: 83-92
- 1981 佐野明・上島康生 " 7: 23-37
- 1984 前田嘉四郎 哺乳類学 49: 55-78

(小野原一と共著) Is-法によるワシ・ワシリスの問題 個体群生態学会年報 17: 5-22 (1970)

- 1975 武田博清 Edaphologia 12: 10-29

Composition of the Is-index. Res. Popul. Ecol. 13: 1-27 (1971)

- 1972 Kuno, E. Res. Popul. Ecol. 14: 55-73
- Iwao, S. " 14: 97-128
- 1973 (伊藤嘉四郎 自然(中絶出版社) 1973: 58-65)
- 1974 久野英二 応用統計 4: 39-53
- " " 4: 83-100
- Fujikawa, T. Appl. Ent Zool. 9: 105-114
- 1975 北元敏夫 生物科学 27: 169-179
- 石井孝・唐井良明 防虫科学 40: 73-80
- * Reise, K. Pedobiolog. 15: 106-
- 1976 Iwao, S. Res. Popul. Ecol. 17: 240-242
- 石井孝・唐井良明 生理生誌 17: 449-455
- 藤川徳子 Edaphologia 15: 1-11
- 1977 Iwao, S. Res. Popul. Ecol. 18: 245-260
- Iwao, S. JIBP Synthesis 17: 21-46
- 白川日工夫 群落の組成と構造(研究): 112-192
- (山田常雄ほか編. 基礎生物学辞典 第2版: 1084)
- 1978 * Hurlbert, S.H. Ecol. Monogr. 59: 67-77
- * Southwood Ecological method. 2nd Ed.
- * Ives, P.M. Aust. J. Ecol. 3: 261-276
- Shidei, T. JIBP Synthesis 18: 23-
- 1979 * Martins, F.R. O Método de Quadrantes. São Paulo
- * Taylor, L.R., I.P. Woiwod & J.N. Perry J. Anim. Ecol. 48: 289-304
- 1980 (大沢清ほか 基礎生物学ハンドブック 岩波)
- * Schenker, R. Rev. Sui. Zoo 87: 1017-
- 谷田一三: 防虫科学 41: 95-111
- 青木他編 論文に基くワシリスの分布 50頁. 岩波書店: 116
- 巖 修一, 数理科学 199: 72-77
- 1982 原五郎 生態学研究法講座 19: 1-139.
- 1983 (山田常雄ほか編. 基礎生物学辞典 第3版: 1163)
- * Wilson, L.T. J. Aust. S. 22: 121-
- * Alby, T. J. Namatol. 15: 410-
- * Greig-Smith, P. Quantitative plant ecology. 3rd Ed Oxford
- 1984 Iwasa, Y. J. Math Biol. 17: 107-
- Ishizuka, M. Jap. J. Ecol. 34: 421-430.
- Tanida, K. Physiol. Ecol. Japan 21: 115-130
- 小林繁男・河野昭一編 林産植物の個体群統計学(培風館)
- 1986 Ito, Y. & R.L. Kitching. Res. Popul. Ecol. 28: 39-42
- Kikkawa, J. & D.J. Anderson. Community ecology. pp. 432.
- 1987 Kobayashi, S. Ecol. Res. 2: 101-111
- * Andrew, M.L. Ocean. Mar. B.R. 75: 39-
- 1988 Fujikawa, T. Edaphologia 39: 29-37
- Nagata, Y. Jap. J. Ichth. 35: 320-
- * Mruk, V. Fol. Zool. 27: 319-
- 1989 * Bhakat, S. Pedobiology 33: 49-

Measuring of habitat value by the "environmental density" method.

Statistical ecology (ed. G.P. Patil et al.) I : 379-401 (1971)

1971 Iwao, S. & E. Kuno Statistical ecology (ed. G.P. Patil et al.) I : 561-512
 1975 松原 幸一・石原 道雄 数理(理論)生物学 4:7-2:10-19
 1976 " " 生理生態 17
 1978 重定 西条子 数理科学 123:40-46
 重定 西条子・寺本 英 日生態会誌 28:1-8
 1979 Shigesada, N. J. Theor. Biol. 79
 大久保 明 数理科学 198:13-12
 1980 Shigesada, N. J. Math. Biol. 9:85-96
 Nagasawa, M. J. Math. Biol. 9:213-
 Okubo, A. diffusion and ecological problems. Springer-Verlag. Berlin
 1981 Nakano, T. Res. Popul. Ecol. 23:1-18
 * Simon, S., R. Karban & M. Lloyd Ecol. 62:1525-1535
 1982 重定 西条子・寺本 英 個体群生態学会報 35:29-31
 東 和 敬 生態学研究法講座(天立)19:1-139
 * Pimm, S. L. & M. L. Rosenzweig Oikos 37:1-6
 1984 Iwakuma, T. & N. Motomura Res. Pop. Ecol. 26:51-73
 1985 * Pimm, S. L. et al. Ecol. 66:798-807
 * Rosenzweig, M. L. Oecologia: 66:194-
 Yamane, T. B. Jap. S. S. F. 51:881-
 * Rosenzweig, M. L. & Z. A. Abramsky. Amer. Natural. 126:405-417
 * Abramsky, Z. Oikos 46:79-
 * Pim, S. L. Oecologia 67:588-
 1986 長谷川 政美・種村 正美 子山のり生物学 東京大出版会
 Inoue, H. Res. Pop. Ecol. 28:321-332
 1987 松原 俊明 Kontyû. Tokyo. 55:543-548
 1988 * Malchow, H. Mem. Fac. Sci. Kyoto Univ. (Ser. Biol.) 13:83-100

(村上興正・櫻井 進夫と共著) ニホンカモシカ 調査報告. 1974年石川県調査報告 (1972)

1974 村上興正. 京都府の野鳥動物(京都府): 129-138

「経済生命表」と食物の「浪費」について < 九木 文二の高原野鳥の定住繁殖業績 1:130-139 (1973)

1975 Hokyo, N. & S. Kawachi Res. Popul. Ecol. 16:207-212
 1976 Ikeda, K. Jap J Ecol. 26:199-202
 松原 俊明 日生態会誌 24:147-156
 格 直高・田中 三三・小野 浩一 生理生態 17:221-232
 志賀 正和 果樹研究報告 A3:67-86
 1977 Tsubaki, Y. Rep. Ebino Biol. Lab, Kyushu Univ. 2:11-30
 1978 藤 本 洋 Kontyû. 46:485-497
 眞 佐 庸 数理科学 183:18-23
 1979 河内 俊宗 Kontyû 47:204-212
 志賀 正和 果樹研究報告 A6:59-168
 沈 田 清彦 山梨大教育学部研究報告: 95-98
 1981 Watanabe, M. C. Phys. Ecol. Japan 18:7-32
 Kusano, T. Res. Popul. Ecol. 23:360-378
 巖 佐 庸 生物の適応戦略 71頁2社
 Tatsukawa, K. Repp. P.-v. Reun. Cons. int. Explor. Men 178:28-29
 1982 沼 田 直 生态学辞書 東洋経済新報社: 3-22
 1984 Miyaji, K. New Phytol. 77:479-
 1986 Suzuki, N. Res. Pop. Ecol. 28:69-83
 菊 沢 喜八郎 日生態会誌 36:189-203
 Miyaji, K. Ecol. Res. 1:302-322
 Suzuki, N. Ecol. Res. 1:259-268.

5分単位採集法 陸上動物の個体数・現存量および生産力研究法の研究(以下編) JIBP-PT 以下班
 昭47 研究報告:7-11 (1973)

- 1983 尾住 研二・寺部 琢哉 石炭期の昆虫 8:1-6.
 1985 日本自然保護協会編 生物指標

令別死亡率の新推定法 陸上動物個体群の調査解析法(文部省科学研究費総合研究A) 昭48年度報告:
 10-15 (1974)

- 1974 吉田 真 Acta Arachnologica 26:11-17

(小野山 敬一と共著) 京都府のアリ類 京都府の野生動物(以下正明編) 京都府公害研究所:31-40 (1974)

- 1976 Onoyama, K. Ecol. Stud. Nat. Cons. Ryukyu Isl. II: 121-141
 1977 Sonobe, R. Jap. J. Ecol. 27: 111-116
 1978 Yamanuchi, K. Sci. Rep. Fac. Educ., Gifu Univ. 6: 147-181
 1980 Onoyama, K. Kontyu 48: 193-212
 増子 豊一 清造 8: 5-15
 1981 編者不詳 五島島の生物(長崎県生物学会): 341-345
 1984 寺山 守・増子 豊一 4葉生物誌 33-1: 2-12
 1988 日本昆虫学研究会編 日本産アリ類の記述-Ⅱ
 1989 Onoyama, K. Jpn. J. Ent. 57: 131-135
 Onoyama, K. Edaphologia 41: 1-10

生存曲線の各展段階 個体群生態学会誌 26-27: 12-18 (1975)

- 1976 松原 俊明 日生態学会誌 26: 147-156
 1977 伊藤 泰昭 動物生態学研究法
 高 俊一 W.ホトトギス集団の生物学入門 読者補註: 163-182
 1978 伊藤 泰昭 比較生態学 第2巻
 1979 志賀 正和 栗樹試報告 A6: 59-160
 Nojima, S. Pub. Amakusa Mar. Biol. Lab., Kyushu Univ. 5: 45-65
 1981 Endo, A. Phys. Ecol. Japan 18: 39-75
 1983 Nishino, T. & S. Nojima. Publ. Amakusa Mar. Biol. Lab. Kyushu Univ. 7: 61-79
 堤 裕昭 ベントス研究会誌 24: 34-40.

回転率と P/\bar{B} 及び P/B_{max} との関係について 日生態学会誌 25: 173-184 (1975)

- 1976 Hozumi, K., M. Shidei & K. Shinozaki Jap. J. Ecol. 26: 191-199
 1977 Tanaka, M. Pub. Amakusa Mar. Biol. St. 4: 147-162
 御勢 久右衛門 淡水生物 20: 1-22
 1982 山岸 宏 新版現代の生態学 福誠社
 Hozumi, K., M. Ishihara & K. Shinozaki Jap. J. Ecol. 32: 1-6

生存曲線 (survivorship curve) の比較法について 山岳・森林・生態学(全国総合大学共同研究報告) 中央公論社:
 455-470 (1976)

- 1979 志賀 正和 栗樹試報告 A6: 59-168
 1983 斎藤 裕 個体群生態学会誌 37: 22-33

動物の社会 生態学講座(共立出版) 19: 1-190 (1976)

1976 門司正三 生態学講座 1
 1977 桜井道夫 哺乳学科学 35: 69-71
 朝日誌 哺乳動物学入門 培風館
 1978 近藤憲三・前川定司 哺乳学科学 36: 41-57
 伊藤高昭 比較社会学 第2版
 水野高彦編 動物生態の調査と研究. 東海堂出版
 (松本忠天 生態学研究法講座(共立出版) 23: 41-57)
 1979 沼田真 生態学方法論 南誌
 江口和洋 哺乳学科学 37: 19-23
 木元敏作 南一島の生態学 共立出版
 増井宗一 人口(人文学講座 南山堂): 175-298
 大久保明 管理科学 198: 13-18
 1980 桂村正美・尾崎信彦 " 213: 11-60
 伊藤高昭・江崎信彦・尾崎信彦 動物の個体群と発生
 朝日誌 哺乳動物学入門. 培風館
 1981 池田信雄 T77カ27頁 20: 115-119
 尾池実 哺乳学科学 42: 77-80
 Sakurai, M. Phys. Ecol. Japan 18: 163-212
 黒田吉久 山階自然科学 13: 1-59
 1982 黒田吉久 応用鳥学集報 2: 1-25
 黒田吉久 鳥学集報. 出版科学総合研究所: 1-64
 原和政 生態学研究法講座 19: 1-139
 江口和洋 生態学研究法講座 19: 140-219
 Ohsawa, H. African Study Monogr. 2: 53-71
 江崎信彦 理化学研究所, 理化学研究所 東京書店
 1983 Katano, O. Phys. Ecol. Japan 20: 33-52
 1984 江上信雄・飯野徹也. 生物学下. 東洋出版会.
 玉名信介 昆虫の生活. 玉川文庫
 Kohda, M. Phys. Ecol. Japan 21: 35-52
 1985 Katano, O. Jap. J. Ichthyol. 32: 225-238
 1986 山田則男. 繁殖戦略のモデル化. 東海堂出版会.
 長谷川政美・桂村正美 鳥の生態学 東海堂出版会
 木元敏作・河内俊英 集団動物学入門. 共立出版
 1989 片野修. 個体群生態学会報. 45: 77-86.

(村上興三・小野常一と共編) Estimation of population density of the Japanese serow, *Capricornis crispus* Temminck, by the pellet and pellet-group count methods. Studies on methods of estimating population density, biomass and productivity in terrestrial animals (ed. M. Morisita). JIBP Synthesis 19: 132-160 (1977)

1979 栗滋 自然保護協会報告 56: 73-102
 野崎英吉 哺乳学科学 37: 83-125
 1980 小野常一 夜行性哺乳動物の調査技術(研究報告)
 1982 原和政 生態学研究法講座 19: 1-139
 1983 Maruyama, N. & Nakamura, S. Jap. J. Ecol. 32: 243-251
 1985 ニホンカモシカの繁殖・形態・病態とその個体群動態に関する研究(研究報告): 305-336.

(調査要旨) ニホンカモシカの諸問題. 徳島の自然 28:5 (1982)

[同誌. 哺乳動物学 50:9-10 (1985)]

1985 村上興正 哺乳動物学 51:13-17.